

平成 21 年度決算付属資料

- I 主要な施策の成果に関する説明書
- II 基金の運用状況を示す書類

武蔵野市

I 平成 21 年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、平成 21 年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

武蔵野市長 邑上守正

平成 21 年度は、歳入では、景気の低迷の影響により、法人市民税が大幅に減少したものの、個人市民税、固定資産税、都市計画税の増により市税全体では 0.5%の増となりました。また、地方譲与税、利子割交付金、株式等譲渡所得割交付金等の交付金、基金繰入金が減となりましたが、都支出金や地方消費税交付金、市債の増があり、歳入総額では対前年度比 13 億 8,092 万円、2.3%増の 605 億 8,135 万円となりました。

歳出では、期末勤勉手当、給料などの人件費の減、消防署用地、自転車対策事業用地取得の完了による投資的経費の減がありましたが、扶助費の増、健康診査委託料など物件費の増、定額給付金による補助費等の増などもあり、歳出総額では前年度比 32 億 5,165 万円、6.0%増の 573 億 298 万円となりました。

平成 21 年度は、「市民とともに魅力ある都市を育み次世代へつなぐ予算」と位置づけ、第四期長期計画・調整計画の 2 年目として、事業に取り組んでまいりました。

以下、主要な施策の成果について申し上げます。

I 健康・福祉

(1) 健康で暮らしつづけるための施策

高齢者の健康維持・増進を目的とした健康体操（不老体操）を公衆浴場、コミセン等で実施し、延べ 14,243 人の方の参加がありました。これらの経費として 1,561 万円を支出しました。

武蔵野赤十字病院と連携を図り、現行の小児救急医療体制の整備に加え、周産期医療の充実を進め、円滑な救急医療活動を支援しました。武蔵野市民の平成 21 年度利用者数は、小児救急受診者 3,555 人、産婦人科救急受診者 372 人でした。これらの経費として 1,300 万円を支出しました。また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査の公費負担回数を 5 回から 14 回に増やし、7,149 万円を支出しました。

母子保健事業については、こんにちは赤ちゃん訪問指導をはじめ、乳児健診、育児相談、親支援グループミーティング事業等を行いました。

老・成人保健事業については、市民の生活習慣病予防及び健康保持を目的に、特定健康診査や特定保健指導をはじめ、各種がん検診、眼科健診、若年層健診等を実施しました。乳がん・子宮がんについては、「女性特有のがん検診」として、5 歳刻みの節目年齢の女性に、無料クーポン券等を配布し、検診の勧奨を行いました。また、新たに「腰、軽やか教室」を実施し、事業全体として 8 億 6,096 万円を支出しました。

新型インフルエンザの流行を最小限に抑え、感染拡大を防ぐために、感染防護衣、マスク、医薬品（タミフル）等の購入・備蓄を行いました。また、新型インフルエンザの流行に対して、「新型インフルエンザ休日診療所・薬局」を開設するとともに、新型インフルエンザ予防接種の低所得者対策を行いました。これらに 2,666 万円を支出しました。

市民の自発的・継続的な健康づくりを支援するための情報収集・発信や啓発活動を行う「健康づくり支援センター」では、健康運動指導などを行い、5,000 人を超える利用がありました。

た。同センターの運営費として3,857万円を支出しました。

(2) 就労・自立支援と社会参加の推進

障がい者の地域での自立と共生を目指して、障害者自立支援法に基づき、介護・訓練等給付費、補装具給付費、更生医療費等を支給しました。これらの経費として14億8,961万円を支出しました。

(3) 地域で支えあう福祉のまちづくり

公共交通機関の利用が困難な高齢者・障がい者の外出を支援する移送サービス「レモンキャブ」については、延べ19,091件の利用がありました。また、車両2台の買い替えを行い、運営費と合わせて2,123万円を支出しました。

市内7カ所で展開するテンミリオンハウスについては、ミニデイサービスや緊急ショートステイ等、地域のニーズに応じた特色ある事業を行い、事業運営費として9,006万円を支出しました。

(4) 安心して暮らせるまちづくり

災害時の要援護者に対し地域で必要な支援を行う災害時要援護者対策事業は、平成21年度新たに3地区で事業に着手し、合わせて13地区中10地区で事業開始に至っております。残りの3地区に関しても順次着手してまいります。

生活保護法等にもとづき、被保護世帯に対して各種給付を行いました。年間延べ58,543人、17,826世帯に対して33億7,184万円を支出しました。

認知症高齢者支援事業については、認知症に関する啓発活動や相談事業を行ったほか、認知症高齢者に対してヘルパーを派遣し、見守り・話し相手・外出支援等を行い、本人や家族の負担軽減を図りました。この経費として649万円を支出しました。

3カ所あった地域包括支援センターを1カ所に統合・直営化し、在宅介護支援センターとの役割を明確化し、機能的な連携がとれる体制にしました。

家族介護用品支給事業については、平成21年度より介護用品の支給要件を緩和し、在宅介護の支援及び家族介護者の経済的な負担の軽減を図りました。この経費として556万円を支出しました。

就学前の子どもと保護者を支援するため、配慮が必要な子どもの通園施設である「こども発達支援室ウィズ」、子どもの発達に関する全般的な相談事業を行う「地域療育相談室ハビット」、おもちゃを使ってのびのびと親子で遊ぶ場「おもちゃのぐるりん」からなる「みどりのこども館」を開設し、8,359万円を支出しました。

障がい児の放課後活動の場を確保し、充実した時間を過ごしてもらうため、日中児童を一時預かる日中一時支援事業や障がい児が通所する児童デイサービスを拡充し、805万円を支出しました。

引きこもりケースの解消とその家族への支援を目的に、電話相談、訪問相談の充実を図り、

自立支援プログラムの作成や啓発事業等を行いました。これらの経費として 321 万円を支出しました。

高次脳機能障がい者とその家族を支援するため、障害者福祉センター内に専門相談員による相談窓口を設置し、419 万円を支出しました。

(5) サービスの質の向上と利用者の保護

ケアマネジャー研修センター事業については、研修会を通じて、要介護者等に適切なケアマネジメントを実施するための専門知識や職業倫理等を教示し、ケアマネジャーの支援を行いました。この経費として 190 万円を支出しました。なお、平成 21 年度より、ケアマネジャー研修センターの運営を福祉公社への委託から市の直接運営に変更しました。

(6) サービス基盤の整備

通所介護事業所及び通所リハビリテーション事業所食事補助事業を廃止しましたが、新たに低所得者対策として、世帯非課税の方を対象に 1 食あたり 200 円を助成する通所サービス利用者食費助成事業を実施しました。

介護老人保健施設「あんず苑アネックス」の整備費として、設置者である(財)天誠会に 1,750 万円の補助を行いました。

訪問介護サービスの利用者負担額の助成を低所得者の方を対象に行っている介護保険利用者負担額助成事業については、平成 21 年度から助成の対象を世帯非課税の方に拡大し、801 人、7,403 件の支給を行いました。この経費として全体で 2,284 万円を支出しました。

介護現場の人材不足を解消するため、(財)武蔵野市福祉公社は、ホームヘルパー 2 級養成講習会の定員枠を 35 人から 70 人に倍増し、講習修了後、「武蔵野市介護サービス事業者リスト」に掲載されている事業所に勤務又は登録した者について、授業料の 8 割を還付するヘルパー養成研修受講支援事業(ケアキャリア 21)を行いました。この事業に対し 122 万円を補助しました。

施設介護サポーターモデル事業については、地域の人材活用と施設の活性化を図るため、施設介護サポーター養成研修及びサポーター受入事業を実施しました。この経費として 443 万円を支出しました。

II 子ども・教育

(1) 子育て支援施策の総合的推進

平成 22 年度から 26 年度までの 5 カ年の計画を定めた第三次子どもプラン武蔵野を策定し、そのための経費として 567 万円を支出しました。

私立幼稚園の補助金については、更なる教育内容の充実を図るため、配慮が必要な園児に対する特別支援教育事業や耐震設備等設置・購入、預かり保育の推進等を行っている私立幼稚園に対し助成を行いました。これらに 2,813 万円を支出しました。また、子ども育成活動

事業の拡大に備えて、武蔵野市子ども協会の一般財団法人化を行いました。

子育て SOS 支援センター事業については、児童虐待をはじめとする子育てに不安を持つ家庭に対する支援として、相談事業、子育てショートステイ事業、産前・産後支援ヘルパー事業等を実施し、1,878 万円を支出しました。

乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業については、医療保険診療自己負担分の助成として、乳幼児 6,571 人に対して全額助成を行うとともに、義務教育就学児 8,159 人に対しても一部助成から平成 21 年 10 月に全額助成に拡充して実施しました。この経費として、3 億 1,671 万円を支出しました。

認証保育所や家庭福祉員などの認可外保育施設に対して、運営費や新規開設費の補助を行いました。また、これらの施設に入所している児童の保護者に対して、保育料の負担軽減のための助成を行い、合わせて 4 億 5,882 万円を支出しました。

(2) 親子のふれあいと家庭への啓発

子どもの食を見直し、家族で楽しく食卓を囲むための啓発を目的とする「家族で手作り・楽しい食卓キャンペーン事業」として、「野菜たんけん隊」、「親子でクッキング!」を実施し、50 万円を支出しました。

子育ての大切さや、親子のふれあい、父親の育児参加等を促進することを目的とする子育て支援事業については、「フォトコンテスト」、「コミセン親子ひろば」、「親子ミニミニジャンボリー」を実施し、97 万円を支出しました。

(3) 子育て支援施設の整備

平成 21 年 12 月に西久保二丁目に市内 15 カ所目の認可保育所「精華第二保育園（定員 96 人）」が開設され、施設整備及び運営費等の補助として 6,555 万円を支出しました。

(4) 学校教育の充実

武蔵野市の教育のあるべき姿と具体的な施策をまとめた学校教育計画を策定しました。

災害発生時の食料等を確保するため、小中学校の児童・生徒等の防災用品を備蓄し、この経費として 190 万円を支出しました。

小中学校の学校遊具、体育施設について安全点検を実施し、更新が必要と判断された遊具の撤去及び新設を行い、1,034 万円を支出しました。

児童数の増加及び中学校給食実施に対応するため、桜野小学校の校舎を増築するとともに、その増築棟に単独調理施設を設置します。平成 21 年度は、旧北校舎の解体及び北校舎棟の増築工事を行い、合わせて 3 億 5,052 万円を支出しました。

地震発生時に迅速な対応がとれるよう全小中学校に緊急地震速報システムを設置し、499 万円を支出しました。また、小中学校の耐震補強工事を 6 校実施し、10 億 135 万円を支出しました。これにより、全小中学校の耐震化を完了しました。

個別指導、グループ指導により個に応じた多様な教育の充実を図るため、少人数指導を引

き続き実施しました。また、学習につまずきのある児童・生徒に対して放課後などに学習支援教室を実施しました。これらの経費として2,617万円を支出しました。

小学校外国語活動については、全小学校にALT(外国語活動指導助手)を配置し、5・6年生の外国語活動を支援しました。平成21年度は、時数を増やして更なる充実を図り、この経費として565万円を支出しました。また、5・6年生の理科の授業の充実を図るため、理科専科教員を新たに2校(計6校)に配置し、ティームティーチングによる理科授業を実施しました。

セキュリティに配慮したネットワークコンピュータを校務用・教材作成用として各教員に配備するため、平成21年度は、システム構築会社を選定し、平成22年度の全校導入に向けた調整を行いました。

農山漁村等における長期滞在型の体験学習を展開するセカンドスクール及びプレセカンドスクールについては、1億1,553万円を支出しました。

学校不適応児童・生徒への学習支援、集団活動への適応指導等、在籍校と連携しながら学校への早期復帰を支援するチャレンジルーム(適応指導教室)に1,578万円を支出しました。また、専門家スタッフを小中学校に派遣し、発達障がいのある児童・生徒の行動の意味や指導上の工夫などについて指導・助言を行い、この経費として320万円を支出しました。更に、発達障がいのある児童に指導員が個別指導を行う特別支援教室を小学校3校(大野田小、千川小、井之頭小)でモデル実施し、358万円を支出しました。

中学校給食は、平成20年度の2校に加えて、新たに3校(三中、五中、六中)で開始しました。また、中学校給食の実施に対応するため、共同調理場及び中学校の配膳室等の改修を行い、合わせて5億225万円を支出しました。また、共同調理場から排出される残菜や調理くず等を資源化し、生ごみの排出抑制を図りました。この経費として、554万円を支出しました。

(5) 青少年施策の充実

地域子ども館事業については、小学生が安全かつ健全に放課後等を過ごし、仲間づくりや異年齢交流を図れるよう、学校施設を利用して地域の居場所・遊び場の提供を行いました。平成21年度は、延べ420,005人の参加があり、この経費として1億2,964万円を支出しました。

長野県南佐久郡川上村にある市立自然の村の維持管理運営費として、4,022万円を支出しました。また、青少年問題協議会地区委員会との共催で実施しているむさしのジャンボリー事業には小学4～6年生924人が参加し、1,200万円を支出しました。

境冒険遊び場公園(プレーパーク)の事業経費として966万円を支出しました。

学童クラブ事業については、五小こどもクラブの学校内移転を9月下旬に実施したほか、障がい児受入れへの支援を行いました。事業全体の経費として1億6,428万円を支出しました。

土曜学校事業については、小中学生を対象としたサイエンスクラブやスポーツプログラム

など、学校の授業ではなかなか学べない体験活動を中心とした 21 種類の講座を実施し、この経費として 1,544 万円を支出しました。

(6) 生涯学習施策の拡充

生涯学習施策を総合的に推進するための生涯学習計画については、全 9 回の策定委員会、パブリックコメント、社会教育委員との意見交換などを行い、本市における生涯学習事業を体系化した新たな計画を策定しました。この経費として 522 万円を支出しました。

広く小中学生に科学の不思議さ、面白さを体験させ、学ぶ意欲の向上を図ることを目的とする「むさしのサイエンスフェスタ」には 1,036 人が参加しました。この経費として 146 万円を支出しました。

武蔵野市と武蔵野地域五大学が協力・連携して、武蔵野地域の住民を対象に、継続的で体系的な学習機会を提供する武蔵野地域自由大学事業を実施しており、1,631 人の学生が登録しています。事業経費として、2,088 万円を支出しました。

今後の図書館運営の指針として、平成 22～31 年度の 10 年間の計画期間とした「武蔵野市図書館基本計画」を策定しました。策定にあたって、計 9 回の策定委員会やパブリックコメントによる市民意見等の聴取、策定業務支援委託等を行い、これらに 865 万円を支出しました。また、新刊図書及び西部図書館・吉祥寺図書館の既存図書、中央図書館・吉祥寺図書館の視聴覚資料等に I C タグの貼付を行ったほか、機器のリースや保守等を含めたシステムの導入費として 4,384 万円を支出しました。

Ⅲ 緑・環境・市民生活

(1) 持続可能な都市の形成

市域 CO₂ 排出削減推進事業として、市内中小企業に省エネ診断・改善アドバイスや省エネの手引きの配布等を行い、241 万円を支出しました。また、第二小学校校舎屋上に出力 30kW の太陽光発電システムを設置し、この経費として 2,524 万円を支出しました。

市内約 4,000 の小規模事業者に対して、事業系ごみを家庭ごみとして排出しないよう指導を強化し、適正排出率の向上を図りました。この経費として 777 万円を支出しました。また、レジ袋の削減を推進するため、市内スーパー等の協力で、1 円キャッシュバック、プチエコ抽選会の実証実験や店頭キャンペーン等を行いました。実験の結果、レジ袋辞退率が向上しました。これらの経費として、822 万円を支出しました。

新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業については、（仮称）新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会の最終報告書を基に、「市の基本的考え方」をまとめ、これを受けて基本計画策定委員会、施設・周辺整備協議会をそれぞれ立ち上げ、具体的検討に入りました。

(2) 緑豊かな都市環境の創出

公園の整備拡充を図るため、城山ひろば公園、中央通りさくら並木公園を新設したほか、境南中央公園、グリーンパーク緑地の用地買収を行い、合わせて15億9,831万円を支出しました。また、市民の緑に対する関心と理解を深めるため、緑の保護育成に貢献している活動を表彰する緑の表彰・顕彰制度を創設しました。第1回目は「歩いて発見！すてきなみどりコンテスト（接道部緑化）」をテーマに実施し、5人の方を表彰しました。

(3) 身近な自然の回復と保全

千川上水整備事業については、平成20年度から継続していた千川上水整備基本計画を策定し、維持管理経費と合わせて4,228万円を支出しました。また、仙川水辺環境整備事業については、桜二の橋から下流をコンクリート3面張り構造の河川から自然護岸へと改修工事を行い、その他維持管理を含めて7,331万円を支出しました。

(4) 農業の振興

認定農業者の経営改善計画の達成を支援するため、改善に要する事業費の一部を補助しました。合計8件、271万円を補助金として支出し、制度を利用した農家の機械化等により経営改善がなされ、作業効率の向上を図りました。また、農地の保全を図るため、市と農地の保存協定を結んだ農家に対して、農業近代化のための施設整備費や農機具購入費用の一部を補助しました。これらの経費として207万円を支出しました。

(5) 商工業の振興

東京都の新・元気を出せ商店街事業の補助対象とならない装飾街路灯等の維持管理経費の一部について、5商店会に対し補助を行いました。この経費として87万円を支出しました。

市内の商業の活性化のため、全2回、合計3億3,000万円のプレミアム付商品券を発行し、そのプレミアム分の一部及び発行にかかる事務経費の補助を行いました。これらの経費として4,029万円を支出しました。

武蔵野市地域経済活性化ビジョンに基づく緊急経済対策の一環として、商店街等への集客力を上げ、消費意欲を刺激するため、市民協働方式での商店街情報発信を行い、そのための経費として1,700万円を支出しました。

吉祥寺全体の商業の活性化を図るため、平成20年度から実施されていたダイヤ街アーケードリニューアル事業が完了し、その経費として2,800万円を支出しました。

路線商業活性化を図るため、隔年で武蔵野市商店会連合会が実施している市内の秀でた店を顕彰するMu～SHOP事業への支援を行いました。平成21年度は、再審査を通過した店舗に、新たに認定された59店を加えた計162店が、地元優良店としてMu～SHOPに認定されました。

平成20・21年度の2カ年で実施した定額給付金事業については、72,320世帯に対して給付を行い、事業全体で20億2,775万円を支出しました。

(6) 都市観光の推進

観光振興事業については、観光推進計画に基づいて、武蔵野市の観光推進機構設立に向けて検討を行いました。また、中央通りさくら並木のライトアップ事業を実施し、合わせて148万円を支出しました。

吉祥寺アニメフェスティバルについては、産業振興及び都市観光推進を目的に、吉祥寺アニメーション映画祭受賞作品上映会や親子プラモデル教室、まちなかLIVE等のイベントを実施し、260万円を支出しました。

(7) 真に豊かな消費生活の推進

市民の消費生活の安定と向上を図るため、消費生活相談、消費者教育講座、夏休み親子教室、消費生活展、消費者団体への助成、悪質商法被害防止街頭キャンペーン、その他消費者被害の未然防止啓発事業等を実施し、1,723万円を支出しました。

(8) 防犯性の高い快適なまちづくり

犯罪の抑制及び防止、安全・安心で快適な通り環境の形成、市民の防犯意識の高揚を図るため、吉祥寺ダイヤ街に防犯カメラを設置し、その設置工事の補助金として595万円を支出しました。

ホワイトイーグル及び市民安全パトロール隊による安全パトロールを実施しました。ホワイトイーグルは車両3台・6人体制で、市民安全パトロール隊は10月より3人増員し、68人体制で運用しました。また、ブルーキャップによるつきまとい勧誘等の指導は11人体制で運用し、違反者に対して警告書を交付しました。その他、市民安全大会、生活安全会議及び生活安全対策推進協議会を開催し、事業全体として1億356万円を支出しました。

(9) 防災態勢の強化

消防能力を高めるため、消防団第8分団、第10分団の消防ポンプ自動車を買換え、この経費として4,300万円を支出しました。また、災害時の医療体制の充実を図るため、医療救護所等の医薬品・医薬資器材を整備し、1,586万円を支出しました。

災害時に大きな課題となるトイレ不足の解消のため、避難所となる第三中学校及び第五中学校にマンホール式の災害用トイレを設置しました。また、西久保公園にもスツール式のトイレを設置し、合わせて4,478万円を支出しました。

災害時給水拠点の確保及び消防水利機能の充実を図るため、吉祥寺南町コミュニティセンター広場に飲料水兼用耐震性貯水槽を整備しました。この経費として6,660万円を支出しました。

(10) 市民活動の活性化と協働の推進

市民による自発的なコミュニティづくりが活発に行われるよう、コミュニティセンターの

管理運営を、指定管理者である16のコミュニティ協議会に委託しました。また、コミュニティづくりのための安全で快適な空間を確保するため、センターの維持管理と基盤整備を行い、合わせて2億8,763万円を支出しました。

第6期コミュニティ市民委員会にて、市民間の連携を支え、地域の活力を高めるコミュニティのあり方等を検討するため、10回の会議を開催し、市民アンケート調査、パブリックコメント、地域別ヒアリングを実施しました。これらの経費として539万円を支出しました。

(11) 男女共同参画社会の実現

男女共同参画社会の実現を目指し、市の施策の推進拠点として、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営を運営協議会に委託しました。平成21年度は、4月から専門的人材としてセンター長を配置し、新たな事業を実施するとともに人材育成を進め、センター運営の活性化を図りました。これらの経費として952万円を支出しました。

男女共同参画情報誌「まなこ」を引き続き発行し、市民への情報提供と啓発を行うとともに、男女共同参画推進団体の活動支援やライター入門講座などの事業を実施し、合わせて424万円を支出しました。

(12) 都市・国際交流の推進

国際交流協会が実施する在住外国人に対する日本語教室・相談事業や、在住外国人との交流をはじめとする市民レベルの国際交流活動を支援するため、運営費補助金として6,615万円を支出しました。なお、同協会は平成21年4月に一般財団法人となりました。

市主催の友好都市交流事業については、市民交流ツアーの実施にあたり参加者に対しアンケートをとり、プログラムの内容を決定するなど、市民の意見を取り入れた企画を実施しました。また、平成21年度から市民を対象に南房総市海の家利用補助事業を実施し、合わせて363万円を支出しました。

(13) 生涯スポーツの振興

地域におけるスポーツ振興を推進するため、誰でも参加しやすく地域におけるコミュニケーションを深めることができるスポーツイベントに対して補助を行いました。平成21年度は、境南コミュニティ協議会のモーニングハイク、関前南地区の地域運動会に合計11万円を支出しました。

緑町スポーツ広場は、手軽にスポーツができる広場として、多くの市民に幅広く利用されており、貸切、個人使用合わせて延べ14,420人の利用がありました。この管理運営費として500万円を支出しました。

(14) 特色ある市民文化の発展

戦争体験の記録・収集事業では、非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、武蔵野市内での空襲体験などをはじめとする戦争体験の収集や聞き取り調査、資料収集などを行い、戦

争体験記録集「武蔵野から伝える戦争体験記録集」を編集・発行しました。また、同時に中島飛行機武蔵製作所の空襲に関する写真パネルを製作し、合わせて65万円を支出しました。

非核都市宣言平和事業については、平和の尊さを市民へ発信するため、非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、武蔵野の空襲や広島・長崎の被爆などの写真パネル展や講演会を行い、20万円を支出しました。

市民の活動、交流等を促進することにより、市民文化の振興を図ることを目的として、インターネットを完備した多目的スペース「武蔵野市立かたらいの道 市民スペース」を設置しました。この経費として4,760万円を支出しました。

IV 都市基盤

(1) 連携・協働が支える信頼のまちづくり

まちづくり条例を運用し、市民・開発業者・市の三者協働による魅力あるまちづくりを推進するため、まちづくり委員会の運営等を行いました。

(2) 地域の特色を活かすまちづくりの推進

20年後の都市像を明らかにするため、都市マスタープラン改定委員会を設置し、都市マスタープランの見直しを進めました。また、市民ニーズの把握や、地区単位のまちづくりを進めるために、都市マスタープラン改定地区別意見交換会を開催し、合わせて748万円を支出しました。

景観、歩行、安全・安心快適性の一層の向上を図るため、電線類地中化のほか、舗装のカラー化、街路樹や植樹帯、装飾街路灯の設置など、優先的に景観整備する路線を計画化する「景観整備路線事業計画」を策定しました。また、これに伴い電線類地中化の予備設計を行い、これらの経費として1,661万円を支出しました。

(3) 利用者の視点と発想を重視するまちづくり

平成22年度のバリアフリー基本構想の改定にあたり、現行基本構想の評価及びバリアフリー新法対応に係る課題の整理を行うため、事業者への進捗の確認、市民へのアンケート及び障がい者団体等へのヒアリングを行い、324万円を支出しました。

環境舗装事業として、市内の生活道路改修の際に透水性舗装を施工し、雨水流出抑制や地下水涵養を行いました。また、ヒートアイランド現象緩和を目的に遮熱性舗装を施工し、これらの経費として1億5,820万円を支出しました。

(4) 上水道の整備・充実

平時はもとより災害時にも安全でおいしい水の安定供給を確保するため、耐震性に劣る配水管（铸铁管、ビニール管）を耐震性ダクタイル铸铁管に取替え、配水管網の整備を図りました。配水管新設工事と合わせて、8億5,423万円を支出しました。また、円滑な水の運用

を図るため、経年劣化した浄水場設備の更新工事を行い、6,148万円を支出しました。

(5) 下水道の再整備

合流式下水道改善事業については、神田川及び善福寺川流域の水環境等の向上や浸水被害の低減を図るため、本市から排出される汚濁雨水を一時的に貯留する施設を吉祥寺東町地区法政跡地等に設置するための基本設計を行いました。また、善福寺川の吐き口に「きょう雑物除去装置」を設置し、合わせて2,096万円を支出しました。

公共下水道再整備事業として、耐用年数を超える管きょや流下能力が不足している管きょを計画的に更新し、5,278万円を支出しました。また、震災時における下水道機能を確保するため公共下水道耐震化工事を行い、施設の耐震性の向上を図りました。この経費として9,229万円を支出しました。

大雨による浸水被害を軽減するため、第三中学校及び第五中学校に雨水貯留浸透施設を設置し、1億1,781万円を支出しました。

(6) 道路ネットワークの整備

都市計画道路7・6・1号線（御殿山通り）事業については、引き続き三鷹橋～むらさき橋間の拡幅整備及び用地買収を進め、1億2,619万円を支出しました。その他、事業進捗中の区画道路14路線等の用地買収、狭あい道路拡幅整備事業等を行い、事業全体で3億4,198万円を支出しました。

(7) 安全で円滑な交通環境の整備

市道第199号線自転車道整備事業については、国土交通省と警察庁合同による「自転車通行環境整備のモデル地区」として指定を受けた「かえで通り」について、三鷹市と連携を図りながら、武蔵境駅南口付近から東八道路までの全長約2kmのうち市域分約0.4kmを自転車道として整備し、4,131万円を支出しました。

交通事故の減少や歩行者の安全な通行を確保するため、自転車マナーや交通ルールを学ぶ自転車安全利用講習会を37回開催し、合計3,489人の参加がありました。この経費として1,407万円を支出しました。

ムーバスについては、7路線9ルートで運行し、年間乗客数は延べ262万人でした。ムーパーク事業と合わせて6,818万円を支出しました。また、誰もが利用しやすい交通体系の実現に向けて、ムーバスを含む地域公共交通の改善・充実に向けた方針及び具体的施策を地域公共交通総合連携計画として取りまとめました。この経費として350万円を支出しました。

(8) 住宅施策の総合的展開

エコライフ体験機器貸出事業については、自然エネルギーの活用及びエネルギーの合理的な使用にかかわる市民の意識啓発を図るため、「おひさま発電キット」を市民に無料で貸出したほか、雨水タンクの購入費の一部も助成し、これらの経費として73万円を支出しました。

民間住宅耐震改修助成事業については、昭和 56 年以前に建築された住宅で、市が定める診断機関の耐震診断結果に基づき耐震改修を行う場合に、その費用の一部を助成するもので、平成 21 年度は、木造 10 件、非木造 1 件の申請があり、合わせて 550 万円を支出しました。また、耐震診断助成事業については、建築物の所有者が耐震診断を受けた場合の費用の一部を助成するもので、木造の住宅 30 件に対して 264 万円を支出しました。

(9) 住宅とまちの防災対策の推進

家具転倒防止器具普及事業については、東京都市長会が実施する家具転倒防止器具助成事業により、家具転倒防止器具及び取付けを希望する世帯に対し、器具の無料配布、一部取付けを行い、2,603 万円を支出しました。

(10) 吉祥寺圏の都市基盤整備

吉祥寺駅周辺の放置自転車対策として、吉祥寺パーキングプラザビルの 1、2 階に 1,271 台分の駐輪場を整備しました。これにより吉祥寺大通り歩道上の利用登録駐輪場を閉鎖し、安全で快適な歩行空間を取り戻しました。この経費として 1 億 651 万円を支出しました。

吉祥寺のまちづくりの一環として立ち上げた吉祥寺方式物流対策委員会の自立と継続的な活動に向けて運営支援を行い、199 万円を支出しました。

吉祥寺のまちづくりを推進するため、庁内に横断的な吉祥寺まちづくり推進委員会を設置し、吉祥寺グランドデザインにおける個々の課題について、大局的見地から事業のあり方を検討し、今後約 10 年間の取組み方策を示した「進化するまち『NEXT-吉祥寺』プロジェクト」を策定しました。これらの経費として 794 万円を支出しました。

吉祥寺の魅力である回遊性の向上に向け、駅改修の事業主体である鉄道事業者とともに、吉祥寺駅南北自由通路整備事業の実施設計を行い、1,200 万円を支出しました。

(11) 中央圏の都市基盤整備

「武蔵野タワーズ」建築工事に合わせ、北棟地下部分に 1,500 台分の公共自転車駐車を整備しました。これにより暫定措置として設置していた中央大通り歩道上の利用登録駐輪場を閉鎖し、安全で快適な歩行空間を取り戻しました。この経費として 5,925 万円を支出しました。

(12) 武蔵境圏の都市基盤整備

鉄道連続立体交差事業については、すでに完了している下り線高架化に加え、上り線高架化が平成 21 年 12 月に完了し、現在、残りの国分寺～立川区間を高架化工事施工中です。事業主体である東京都に対し、平成 21 年度は 3 億 4,728 万円の負担金を支出しました。

都市計画道路 3・3・23 号線事業については、武蔵境駅北口広場の基本設計に基づき、関係機関との調整・協議を行うとともに、広く市民から意見を収集するため、駅周辺のまちづくり説明会を実施しました。これらの経費として 547 万円を支出しました。

都道 123 号線拡幅整備（新みちづくり・まちづくりパートナー事業）に伴って、道路築造工事及び電線共同溝連系・引込管工事を行いました。また、新路線の武蔵境駅北口広場から市道第 291 号線区間の測量を実施し、合わせて 9,895 万円を支出しました。

武蔵野プレイス建設事業については、平成 21 年 1 月に着工し（平成 23 年 1 月竣工、同 7 月開館予定）、平成 21 年度末現在の進捗率は 45.5%となっています。約 25,000 冊の図書を新たに購入する等開館準備を進め、事業全体として 11 億 7,008 万円を支出しました。

V 行・財政

（1）市民パートナーシップの積極的推進

市民、事業者、行政の新たなパートナーシップと、これからの武蔵野市らしい市民自治の可能性について考えるため、「武蔵野市の市民自治の未来を考える～新しいパートナーシップのかたち～」と題したシンポジウム及び連続講座を実施し、67 万円を支出しました。

市民と市長のタウンミーティングについては、地域の課題や市政全般について、市長と直接意見交換を行う場として年間 6 回開催しました。また、行政や N P O ・市民活動団体同士の協働を促進する活動拠点である市民協働サロンの管理運営を、市内の N P O 法人に委託し、1,212 万円を支出しました。

（2）市民ニーズに応えるサービスの提供

東京都と市区町村との共同運営による電子申請サービス及び電子調達サービスを利用し、電子申請については自然体験事業・生涯学習講座、胃がん・子宮がん検診及び誕生記念樹の申込など 30 の手続きを電子申請化し、1,266 件の申込がありました。また、電子調達については工事 29 件、委託 44 件、物品 5 件の電子入札を行いました。

（3）積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底

市のホームページに関しては、ホームページの掲載情報が役立っているかを把握するため、評価機能などを追加し、運営費と合わせて 575 万円を支出しました。

（4）健全な財政運営の維持

行政評価制度の再構築として、「武蔵野市事務事業・補助金見直しの基準」を定め、この基準に基づき複数の視点から事務事業の見直しを進めました。また、個別事務事業評価を予算編成に組み込み、予算との連動性を高めました。

公共施設保全整備については、劣化調査の結果に基づきコミュニティセンターや公会堂などの公共施設の保全整備を実施し、施設の機能維持及び延命化を図りました。これらの改修費として 2 億 3,542 万円を支出しました。

(5) 時代の変化に対応する柔軟な行政運営

指定管理者制度の運用状況を確認するため、指定管理者制度を導入している公の施設 26 施設でモニタリングを実施し、モニタリング評価委員会において適正に管理運営が行われていることが認められました。この経費として 1,000 万円を支出しました。

中高年齢者・障害者の雇用創出事業として、職員の定数適正化計画の実施とあわせ、庁内各課との調整を行い、平成 22 年 3 月 1 日現在で 36 課 75 職種 240 人の嘱託職員を任用しました。また、緊急雇用創出事業として、市の業務を見直し、ワークシェアリングと求職者の生活支援を目的に市民の雇用を創出するという観点から、平成 22 年 3 月 1 日現在、16 課 16 職種 19 人の嘱託職員を任用しました。

地理情報業務の効率化を図るため統合型地理情報システムを更新したほか、人事、給与、文書管理等を行う総合事務支援システムの再構築に着手しました。IT の導入とともに事務の見直しを行い、全庁業務の効率化を進めました。

平成 21 年度主要な施策の概要と成果一覧

I 健康・福祉

1 健康で暮らしつづけるための施策

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	浴場開放(不老体操)事業の充実 [高齢者支援課]	予算 17,186 決算 15,613	高齢者の健康維持・増進を目的とし、市内浴場やコミュニティセンター等を開放。指導員による健康体操(不老体操)を実施した。 平成21年4月時点では、浴場8カ所、コミュニティセンター等7カ所で実施していたが、年度中に浴場1カ所が閉鎖し、コミュニティセンターの会場を2カ所新たに確保したため、平成22年1月以降は浴場7カ所、コミュニティセンター等9カ所で実施した。 実施延回数 669回、参加延人数 14,243人
2	小児・産婦人科救急医療運営費助成事業 [健康課]	予算 13,000 決算 13,000	武蔵野赤十字病院との連携を図り、現行の小児救急医療体制の整備に加え、周産期医療の充実を進め、円滑な救急医療活動を支援した。 小児救急総受診者数 12,432人(うち市民 3,555人、28.6%) 産婦人科救急受診者数 1,735人(うち市民 372人、21.4%)
3	妊婦健康診査の公費負担の拡充 [健康課]	予算 94,099 決算 71,493	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減のために、妊婦健康診査の公費負担回数を5回から14回に増やした。 妊婦健診(1回目) 受診者 1,162人 妊婦健診(2~14回目) 受診者 10,782人 超音波 受診者 289人 また、助産所及び里帰り等により東京都以外の医療機関で妊婦健康診査を受診した人も助成の対象とした。 助成者数 156人
4	母子保健事業 (妊婦健診を除く) [健康課]	予算 86,202 決算 79,375	母子保健法の趣旨に基づき、こんにちは赤ちゃん訪問指導(新生児乳児全戸訪問)をはじめ乳児健診、育児相談、親支援グループミーティング事業等を行った。また、3歳児健診において斜視等を発見するため、視力検査の精度を高めた。 こんにちは赤ちゃん訪問指導 訪問実人数 1,064人 乳児健診(3~4カ月児) 受診者 944人 乳児健診(6~7カ月児) 受診者 910人 乳児健診(9~10カ月児) 受診者 898人 3歳児健診 視力検査受診者数 874人 育児相談 来所者 1,256人 親支援グループミーティング事業 参加延人数 111人
5	老・成人保健事業 [健康課]	予算 1,024,691 決算 860,958	特定健康診査や特定保健指導をはじめ、市民の生活習慣病予防及び健康保持を目的に、各種がん検診、眼科健診、若年層健診等を実施した。また、平成21年度より、新たに「腰、軽やか教室」を実施した。 若年層健康診査(30~39歳) 受診者数 393人 健康診査(40歳~) 受診者数 21,665人 特定保健指導 利用者数 379人 女性特有のがん検診 乳がん検診受診者数 959人 子宮がん検診受診者数 1,345人 腰、軽やか教室 参加者数 46人

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
6	新型インフルエンザ対策 [健康課]	予算 6,624 決算 26,659	<p>新型インフルエンザの発生に伴い、その流行を最小限に抑え、感染拡大を防ぐために、感染防護衣等の資器材や医薬品(タミフル)の購入・備蓄を行った。</p> <p>防護服セット4種類 計1,600組、医薬品(タミフル)1,000組、マスク2種類 計105,000枚、消毒液 2,000本、留守番電話設置費 210,000円</p> <p>また、新型インフルエンザの流行に対して、「新型インフルエンザ休日診療所・薬局」を開設するとともに、新型インフルエンザ予防接種の低所得者対策を行った。</p> <p>延医療機関数 66カ所、延薬局数 56カ所 診療患者数 1,117人、予防接種費用助成者数 491人</p>
7	健康づくり支援センター事業 [健康課]	予算 42,353 決算 38,572	<p>市民の自発的・継続的な健康づくりを支援するための情報収集・発信や啓発活動を行う拠点として「健康づくり支援センター」を平成21年9月まで直営で運営した(平成21年10月より、(財)武蔵野健康開発事業団へ移管)。また、東京都オリンピックムーブメント共同推進事業による「健康づくりの集いにおけるオリンピック・トークイベント」を開催した。</p> <p>健康運動指導 利用者 5,411人 健康づくりの集い 参加者 119人 健康づくりの集いにおける オリンピック・トークイベント 参加者 256人</p>

2 就労・自立支援と社会参加の推進

8	障害者自立支援給付事業 [障害者福祉課]	予算 1,307,173 決算 1,489,608	<p>障がい者の地域での自立と共生を目指して、障害者自立支援法に基づく給付費の支給等を行った。</p> <p>介護・訓練等給付費(1,346,552千円)、補装具給付費(19,874千円)、更生医療費(62,572千円)等。報酬単価の改定などにより介護・訓練等給付費が増加した。</p>
---	-------------------------	------------------------------	---

3 地域で支えあう福祉のまちづくり

9	移送サービス(レモンキャブ)事業 [高齢者支援課]	予算 22,888 決算 21,231	<p>公共交通機関の利用が困難な高齢者・障がい者の外出を支援するため、ドア・ツー・ドアの送迎サービスを提供した。また、年次計画により、車両2台の買い替えを行った。</p> <p>利用会員数860人、運行日数293日、利用件数19,091件</p>
10	テンミリオンハウス事業 [高齢者支援課]	予算 92,194 決算 90,060	<p>市内7カ所にあるテンミリオンハウスがミニデイサービスや緊急ショートステイ等、地域のニーズに応じた特色ある事業を展開した。</p> <p>①川路さんち 開所日数264日 延利用人数2,760人 ②月見路 開所日数291日 延利用人数3,456人 ③関三倶楽部 開所日数353日 延利用人数(デイ)835人 (ショート)465人 ④そ~らの家 開所日数254日 延利用人数4,209人 ⑤きんもくせい 開所日数296日 延利用人数6,108人 ⑥花時計 開所日数250日 延利用人数(高齢者)4,184人 (乳幼児)1,498人 ⑦くるみの木 開所日数302日 延利用人数4,727人</p>

4 安心して暮らせるまちづくり

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
11	災害時要援護者対策事業 [生活福祉課]	予算 826 決算 710	災害時における要援護者に対し、地域で必要な支援を受けることができる体制を構築する事業。平成20年度までに市内7地区(13地区中)で事業に着手しており、平成21年度は新たに3地区で事業を開始した。
12	生活保護法等による扶助事業 [生活福祉課]	予算 3,228,926 決算 3,371,835	被保護世帯に対して生活保護法等にもとづく各種給付を行った。前年度に比べ被保護世帯、人員は168世帯201人増加した。 延人数…58,543人、延世帯数…17,826世帯
13	認知症高齢者支援事業 [高齢者支援課]	予算 15,124 決算 6,494	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法について市民に広く普及するため、啓発活動や相談事業(電話相談・面接相談)を実施した。また、認知症高齢者見守り支援事業によりヘルパーを派遣し、見守り・話し相手・外出支援等を行い、認知症高齢者本人への支援及びその方を介護する家族の負担軽減を図った。 ①認知症サポーター養成講座…50回 1,179人 ②認知症相談事業…面談65人、電話19人 ③認知症見守り支援事業…決定者数49人、登録者数42人 延利用時間1,696.5時間(平成22年3月末現在)
14	地域包括支援センターの再構築と在宅介護支援センターの強化 [高齢者支援課]	予算 299,171 (うち介護保険事業会計 151,168) 決算 269,971 (うち介護保険事業会計 145,740)	平成21年7月に地域包括支援センター3カ所体制を1カ所体制(市直営方式)に変更した。地域包括支援センター、在宅介護支援センターそれぞれの役割を明確にし、機能的連携が取れるサービス体制を構築した。また、地域包括支援センターが行う相談等の業務の一部を6カ所の在宅介護支援センターに委託し、地域の窓口機能を拡充した。
15	家族介護用品支給事業 [高齢者支援課]	予算 6,895 決算 5,561	家族介護者の負担を軽減し、在宅での介護を支援するため、家族介護用品(おむつ)の支給の要件を緩和(家族介護者世帯の非課税要件を廃止、要介護度の範囲を拡大)し、家族介護支援事業の充実を図った。 延利用者数817人
16	みどりのこども館の開設 [障害者福祉課]	予算 87,404 決算 83,586	就学前の子どもと保護者への支援を目的として、平成21年4月に緑町都営住宅に「みどりのこども館」を開設した。「こども発達支援室ウィズ」「地域療育相談室ハビット」「おもちゃのぐるりん」の運営を(福)武蔵野に指定管理委託した。 ウィズ(実利用者17人) ハビット(相談延533件、親子通園登録者51人) ぐるりん(延利用者3,132人)
17	障がい児放課後対策の充実 [障害者福祉課]	予算 15,353 決算 8,048	障がい児の放課後活動の場を確保するため、民間事業者の参入を促し、日中一時支援、児童デイサービスを拡充した。 日中一時支援及び児童デイサービス延利用者691人 (平成20年度500人)
18	引きこもりサポート事業 [障害者福祉課]	予算 3,207 決算 3,207	引きこもりケースとその家族を支援するため、電話や訪問により相談事業の充実を図り、自立支援プログラムの作成や啓発事業等を実施した。 相談登録者44人、相談延970件、啓発事業延参加者326人 (計5回)
19	高次脳機能障がい者相談支援事業 [障害者福祉課]	予算 4,625 決算 4,191	事故や脳血管障がいなどにより脳に損傷を受けた高次脳機能障がい者とその家族を支援するため、障害者福祉センター内に専門相談員を配置し相談支援を行った。 相談延320件

5 サービスの質の向上と利用者の保護

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
20	ケアマネジャー研修センター運営事業 [高齢者支援課]	予算 3,178 決算 1,904	研修会を通じて、職業倫理や専門知識を習得し、要介護者等に適切なケアマネジメントを提供することを目指す。平成21年度は、福祉公社委託から市直営となり、保険者や地域包括支援センターと共にケアマネジャー支援にあたった。 登録事業者 91 事業者 登録ケアマネジャー 268 人 ①新任研修会 1回 修了者数 30人 ②現任研修会 1部1回 修了者数 34人 2部1回 修了者数 49人 ③専門研修 「病院から在宅までのリハビリを考える」 参加者数 117人 「ケアマネジメント業務における記録」 参加者数 113人 ④ケアプラン指導研修 4回 20事例
21	ケアマネジャーガイドラインの改訂 [高齢者支援課]	予算 3,000 決算 3,000	ケアマネジャーの資質向上及び給付適正化を図るとともに、ケアマネジャーの業務に対する支援、指導体制を充実させることを目的として、介護保険制度改正等を踏まえて、平成16年3月発行の「武蔵野市ケアマネジャーガイドライン(第2版)」を全面改訂し、今回「第3版」として発行した。

6 サービス基盤の整備

22	通所サービス利用者食費助成事業 [高齢者支援課]	予算 12,434 決算 11,863	平成17年度から実施していた通所介護事業所及び通所リハビリテーション事業所食費補助事業を廃止。平成21年度から世帯非課税の方を対象に通所サービス利用者食費助成事業として、1食当たり200円を助成する低所得者対策を実施した。 実支給人数 623人(新制度のみの人数)、延交付食数 57,155食(旧制度2カ月分 16,132食を含む)
23	サテライト型小規模老人保健施設「あんず苑アネックス」施設整備補助事業 [高齢者支援課]	予算 25,000 決算 17,500	医療ニーズの高い高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、(財)天誠会が介護老人保健施設「あんず苑アネックス」を整備するにあたり、整備費の補助を行った。整備の進捗状況により、2カ年(平成21～22年度)に分けて補助を行う。 場 所…境 1-19-20 種 別…介護老人保健施設 定員 21人 通所リハビリテーション 定員 20人 訪問看護ステーション 開 設…平成22年7月1日
24	介護保険利用者負担額助成事業 [高齢者支援課]	予算 28,163 決算 22,842	平成18年7月利用分から、一定の対象要件を満たす方に訪問介護サービスの利用者負担額10%のうち5%分を助成。平成21年度から世帯非課税の方を対象を拡大、対象要件を緩和したことで、新たに対象となった方は96人(実人数)。 実支給人数 801人、支給件数 7,403件
25	ヘルパー養成研修受講支援事業(ケアキャリア21) [高齢者支援課]	予算 1,220 決算 1,220	介護現場の福祉人材不足を解消するため、(財)武蔵野市福祉公社は、ホームヘルパー2級養成講習会について、緊急雇用対策として、受講者定員枠を倍増(35人を70人)した。講習修了後、「武蔵野市介護サービス事業者リスト」に掲載されている事業所に勤務又は登録した講習生に、授業料の8割を還付した。市はこの事業に対し補助を行った。 修了生は56人(うち還付金請求者12人)

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
26	施設介護サポーターモデル事業 [高齢者支援課]	予算	4,411
		決算	4,434
介護保険施設等における人材の確保・定着が困難な状況の中、地域の人材活用と施設の活性化を図るため、都モデル事業として吉祥寺ナーシングホームに委託し、施設介護サポーター養成研修及びサポーター受入事業を実施した。 養成研修…実施日数 13日 延受講者数 182人 受入事業…受入日数 326日 延受入者数 1,466人 サポーター登録者数…36人			
27	移動支援事業の見直し [障害者福祉課]	予算	72,491
		決算	64,990
知的障がい者向けの移動支援事業のサービス供給不足を解消するため、事業報酬単価とサービス体系を見直し、事業者とヘルパーの健全育成を図った。 知的障がい者の延利用者 651人(平成20年度 603人)			

Ⅱ 子ども・教育

1 子育て支援施策の総合的推進

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	第三次子どもプラン武蔵野の策定 [子ども家庭課]	予算 6,544 決算 5,667	次世代育成支援対策推進法に基づき、また、武蔵野市第四期長期計画調整計画の実施計画として、平成22年度から26年度までの5カ年の計画を平成21年度に策定した。
2	私立幼稚園補助金の拡充 [子ども家庭課]	予算 36,500 決算 28,133	私立幼稚園における教育内容のさらなる充実を図るため、配慮を必要とする園児に特別な支援を行っている園に対し、補助制度を新設した。また、耐震設備等の設置・購入にかかる経費を新たに創設したほか、預かり保育への補助についても拡充した。 特別支援教育事業補助金 2,247,000円 耐震設備等補助金 537,000円 預かり保育推進補助金 10,990,200円 その他補助金 14,358,500円
3	武蔵野市子ども協会の法人化 [子ども家庭課]	予算 3,060 決算 3,440	子ども育成活動全般を対象とした関連施策に事業を拡大することに備えて一般財団法人化を行った。
4	0123の管理運営 [子ども家庭課]	予算 104,514 決算 108,293	0歳児から3歳児までの乳幼児とその親の子育てを支援するための事業を行うとともに、施設を安全・適正に維持・管理するため、武蔵野市子ども協会に管理運営を委託した。 延利用者 吉祥寺 16,239組 はらっぱ 26,080組
5	子育てSOS支援センター事業 [子ども家庭課]	予算 20,131 決算 18,776	相談事業、子育てショートステイ事業、産前・産後支援ヘルパー事業の実施、子育て支援ネットワークに所属する機関との連携により、児童虐待をはじめとする子育てに不安を持つ家庭を支援した。 相談事業延件数 6,162件
6	乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業 [子ども家庭課]	予算 282,622 決算 316,712	乳幼児及び義務教育就学児の医療保険診療自己負担分を助成した。(義務教育就学児は平成21年9月まで一割助成) 医療費助成額 290,946,707円 対象児童数 乳幼児 6,571人 義務教育就学児 8,159人
7	児童手当等支給事業 [子ども家庭課]	予算 877,093 決算 860,040	児童手当、児童扶養手当、児童育成手当を給付し、子育て支援の充実を図った。 児童手当支給額及び児童数 被用者 153,940,000円 1,336人 非被用者 50,560,000円 397人 特例給付 19,740,000円 163人 被用者小学校修了前特例給付 192,980,000円 3,043人 非被用者小学校修了前特例給付 76,250,000円 1,189人 児童扶養手当支給額 203,186,680円 受給者数 456人 児童育成手当支給額 163,383,500円 対象児童数 育成手当 992人 障害手当 59人
8	ひとり親家庭医療費助成事業 [子ども家庭課]	予算 32,154 決算 29,379	ひとり親家庭等に対し、医療保険診療自己負担分の一部を助成した(所得制限あり)。 医療費助成額 27,429,098円 受給世帯数 465世帯、受給対象者数 784人

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
9	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 [子ども家庭課]	予算 16,647 決算 12,509	修学、就労、疾病又は生活環境の変化等により、一時的に家事、育児等の日常生活の援助を必要とするひとり親家庭にホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。 実世帯数 56 世帯 派遣日数 2,656 日
10	子どもを守る家関連推進事業 [児童青少年課]	予算 1,964 決算 1,560	「子どもを守る家」「自転車防犯帯」協力員の拡大及び活動の意義・目的の再認識と情報提供の実施。子どもが自ら身を守ることの意識づけを目的とした「CAPワークショップ」を実施した。 子どもを守る家 1,930 件 自転車防犯帯 2,577 件
11	認可外保育施設助成事業 [保育課]	予算 477,050 決算 458,819	認証保育所、家庭福祉員等に対する運営費補助及び入所児童保護者助成を行った。新規に開設した認証保育所、病児・病後児施設の開設に対し補助を行った。

2 親子のふれあいと家庭への啓発

12	家族で手作り・楽しい食卓キャンペーン事業 [子ども家庭課]	予算 630 決算 502	子どもの食を見直し、家族で楽しく食卓を囲むための啓発を目的として、子どもの食のあり方を考えるきっかけとなる事業を展開した。 参加者：野菜たんけん隊 夏 20 組 55 人 冬 9 組 23 人 親子でクッキング！ 15 組 31 人
13	子育て支援事業 [子ども家庭課]	予算 1,520 決算 972	子育ての大切さや楽しさをアピールし、親子のふれあいを深め、父親の育児参加を促進する事業を実施した。 ①フォトコンテスト 応募者 182 人 フォト講座 18 組 48 人 ②コミセン親子ひろば 延利用人数 10,153 人 ③親子ミニミニジャンボリー 参加者 14 組 42 人

3 子育て支援施設の整備

14	児童館運営事業 [児童青少年課]	予算 16,233 決算 16,195	子どもたちの健全育成を目的として、乳幼児親子と小中学生を対象に、健全な遊びと安全な居場所の提供及び子育て支援を実施した。 自主事業 302 回 参加者 延 14,638 人 一般来館者 延 27,868 人 総計 42,506 人
15	新規認可保育所の整備 [保育課]	予算 87,010 決算 65,551	平成 21 年 12 月 1 日、西久保二丁目に新規認可保育所「精華第二保育園(定員 96 人)」を開設。 運営費、開設に伴う施設整備補助、延長保育補助などを行った。

4 学校教育の充実

16	学校教育計画の策定 [教育企画課]	予算 2,424 決算 1,447	前年度に引き続き、平成 21 年度は 9 回の策定委員会とパブリックコメントを実施し、平成 22～26 年度を計画期間とする学校教育計画を策定した。
17	小中学校・児童生徒用防災用品購入 [教育企画課]	予算 2,526 決算 1,897	小中学校に児童・生徒等の防災用品を 5 年間で備蓄し、災害発生時の食料等を確保する。 クラッカー、アルファ米、備蓄用パン、アレルギー対応食、水、毛布、アルミックシート。 平成 21 年度は、1 年目の備蓄を実施した。

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
18	学校遊具・体育施設維持修繕 [教育企画課]	予算 20,431 決算 10,342	小中学校の学校遊具、体育施設について安全点検を実施し、更新が必要と判断された遊具の撤去、新設を実施した。
19	桜野小学校校舎等増築工事 [教育企画課]	予算 333,780 決算 350,519	児童数増加に伴い普通教室が不足することが予測されるため、校舎の増築を行う。また、併せて中学校給食の実施に伴い必要となる給食提供数を確保するため、増築棟に単独調理施設を設置する。平成21年度は、7月から8月にかけて旧北校舎の解体を実施し、10月より北校舎棟増築工事を開始した。完了は平成22年8月末の予定。
20	小中学校緊急地震速報システム設置 [教育企画課]	予算 6,950 決算 4,988	小中学校に緊急地震速報システムを設置し、地震発生時に迅速な対応をとれるようにした。 平成21年度に全ての小中学校へ設置した。
21	小中学校耐震補強事業 [教育企画課]	予算 1,278,299 決算 1,001,352	平成18年度に実施した耐震再診断の結果、要補強と診断された小中学校のうち、平成20年度に引き続き平成21年度は残りの6校の耐震補強工事を完了した。
22	少人数指導及び学習支援教室等の推進 [指導課]	予算 27,351 決算 26,174	学級内及び学級の枠を越えた弾力的編成による個別指導、グループ指導を行い、個に応じた多様な教育の充実を図った。また、学習につまずきのある児童・生徒へのきめ細かな支援を図るため、希望者を対象に放課後等において学習支援教室を実施した。 平成21年度の執行率は、ティームティーチング及び少人数指導 100%、学習支援教室 88.5%
23	小学校外国語活動の支援 [指導課]	予算 6,301 決算 5,653	平成20年度より、市立全小学校にALT(外国語活動指導助手)を配置し、5・6年生の外国語活動を開始している。平成21年度は、時数をモデル校3校が35時間、他の小学校は20時間として、市が任用した4人のALT及び業務委託(業者)のALTにより外国語活動を実施した。
24	小学校高学年における理科専科教員の配置 [指導課]	予算 7,695 決算 7,674	小学校高学年(5・6年生)において理科専科教員による授業の充実を図った。制度開始2年目の平成21年度は、8人の理科専科教員を任用し、市立小学校6校〔継続校4校(二小、四小、本宿小、桜野小)・新規校2校(一小、千川小)〕に配置し、ティームティーチングによる理科授業を実施した。
25	教員用コンピュータネットワーク構築 [指導課]	予算 58,977 決算 54,632	平成22年度末までに、セキュリティに配慮したネットワークコンピュータを校務用・教材作成用として教員一人に一台配備する。平成21年度は、国の緊急経済対策の活用と公募プロポーザルによる構築運用事業者の選定のため、導入の全体スケジュールが、約6カ月遅れたが、先行導入校3校を決定するとともに、新しいシステムの導入・移行がスムーズに行われるように、先行導入校の実態調査及び導入に向けた調整を行った。
26	セカンドスクール [指導課]	予算 142,407 決算 115,530	市立小学5年生、中学1年生を対象に、農山漁村等における長期滞在型の体験学習を展開するセカンドスクールを学校単位で実施した。また、小学4年生を対象に短期宿泊体験学習であるプレセカンドスクールを実施した。平成21年度は、新型インフルエンザの影響により2校が延期となったが、日程調整を行い、それぞれ実施することができた。

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
27	チャレンジルーム(適応指導教室) [教育支援課]	予算 17,020 決算 15,783	学校不適応児童・生徒への学習支援・集団活動への適応指導を実施するとともに、学校行事・部活動への参加、三者面談、進路相談等の実施において、在籍校と連携することで、早期復帰の支援を図った。 相談件数 3,230 件
28	専門家スタッフの学校派遣 [教育支援課]	予算 3,300 決算 3,200	各学校における特別支援教育を推進するため、校内での体制づくりや児童・生徒の実態把握、指導内容の充実等に対する助言を行うことを目的とした専門家スタッフを小・中学校に派遣した。派遣人数 延 132 人
29	特別支援教室モデル事業 [教育支援課]	予算 3,691 決算 3,584	学習障がい等の発達障がいのある児童に指導員が個別指導を行う特別支援教室を小学校 3 校(大野田小、千川小、井之頭小)でモデル実施。参加児童数 19 人。各校の実施状況の確認や情報交換を行うためモデル事業連絡会を年 3 回開催した。
30	中学校給食の実施 [給食課]	予算 590,275 決算 502,252	中学校給食の実施に対応するため、共同調理場及び中学校の配膳室等の改修を行ったほか備品・消耗品の準備を行った。 第三中学校、第五中学校…平成 21 年 11 月実施 第六中学校…平成 22 年 1 月実施
31	学校給食残渣資源化処理委託 [給食課]	予算 10,020 決算 5,544	共同調理場から排出される調理くずや残菜類の資源化を行った。

5 青少年施策の充実

32	ラボック市ジュニア大使招へい事業 [交流事業課]	予算 3,427 決算 117	受入の予定であったが、新型インフルエンザ流行のため事業を中止した。
33	中国との相互交流事業 [交流事業課]	予算 3,555 決算 4	派遣の予定であったが、新型インフルエンザの流行のため事業を中止した。
34	韓国との相互交流事業 [交流事業課]	予算 3,048 決算 34	江東区への派遣と忠州市から受入を予定していたが、新型インフルエンザの流行のため 2 事業を中止した。
35	地域子ども館事業 [子ども家庭課]	予算 134,110 決算 129,637	小学生が安全かつ健全に放課後等を過ごし、仲間づくりや異年齢交流を図れるようにするため、学校施設を利用して地域の居場所・遊び場を提供した。 延参加児童数 420,005 人
36	市立自然の村管理運営 [児童青少年課]	予算 42,292 決算 40,220	長野県南佐久郡川上村にある市立自然の村の維持管理運営を行った。 宿泊利用人数 延 5,841 人 利用促進バス 14 回運行 利用人数 延 170 人
37	むさしのジャンボリー事業 [児童青少年課]	予算 13,341 決算 11,995	武蔵野市青少年問題協議会地区委員会との共催事業として、2泊3日のキャンプを 11 回実施した。 場所…市立自然の村 参加者 1,414 人(小学 4～6 年生児童 924 人、指導者 324 人、サブリーダー 163 人、介助者 3 人)

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)		施策の概要と成果
38	青少年問題協議会の運営と 地区委員会活動の推進 [児童青少年課]	予算 決算	11,931 11,224	青少年問題協議会定例会の開催及び地区委員会の活動に対する補助を行った。 市内12地区委員会 地区委員 1,464人
39	青少年活動育成 (境冒険遊び場公園の運営を除く) [児童青少年課]	予算 決算	17,805 13,813	①中高生リーダー講習会 115人(参加申込数) ②善行表彰 9人、4団体、奨励団体 1団体 ③鳥取家族ふれあい自然体験 26組87人 ④親子柵田体験 春…14家族33人 秋…12家族29人 ⑤自然体験指導者講習 延参加者 48人 ⑥青少年団体バス借上げ 延台数 65台
40	境冒険遊び場公園(プレーパーク)の運営 [児童青少年課]	予算 決算	9,658 9,657	平成21年度 総来場者数 13,821人 イベントプレーパーク開催数 13回
41	ハバロフスク市青少年交流事業 [児童青少年課]	予算 決算	2,789 263	新型インフルエンザの影響で、自然交流使節団の派遣を中止した。
42	学童クラブ事業 [児童青少年課]	予算 決算	173,725 164,284	市立小学校低学年児童で、放課後監護に欠ける児童の健全育成を図った。五小こどもクラブの学校内移転を9月下旬に実施したほか、市民団体などが行う放課後児童健全育成事業に対し、主に障がい児受入れへの支援を重点的に行った。 12クラブ 定員 660人 在籍数(年間平均) 541人
43	土曜学校事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	18,103 15,442	学校の授業ではなかなか学べない体験を中心とした学習の場として、小中学生を対象に、学校休業日の土曜日の体験活動を中心としたプログラムを展開した。平成21年度は21種類の講座を実施した(スポーツプログラム・市民会館実施分を含む)。

6 生涯学習施策の拡充

44	生涯学習計画の策定 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	8,483 5,220	策定委員会を9回開催するとともに、パブリックコメントの実施、社会教育委員との意見交換などを行い、本市における生涯学習事業を体系化するとともに、生涯学習施策を総合的に推進するための計画を策定した。
45	むさしのサイエンスフェスタ [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	1,860 1,464	大野田小学校を会場に市立小中学校教員や地域ボランティア、地元の大学や企業等の協力を得て科学実験ブースを設置し、広く小中学生に科学の不思議さ、面白さを体験させ、学ぶ意欲の向上を図った。 参加者数 1,036人。
46	文化財保護普及事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	18,255 16,537	文化財の保存と活用を目的とし、文化財保護委員の会議の開催、民俗資料の調査収集・展示、埋蔵文化財の発掘調査及び調査報告書の刊行などを行うとともに、開村120周年を記念した連続歴史講演会を行った。
47	武蔵野地域自由大学事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	22,997 20,879	武蔵野市と武蔵野地域五大学が協力・連携して、武蔵野地域の住民を対象に継続的で体系的な学習機会を提供した。 平成21年度末の登録学生数は、1,631人。

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)		施策の概要と成果
48	図書館基本計画の策定 [図書館]	予算 決算	9,186 8,645	社会環境の変化に見合った図書館運営を効率的・効果的に展開するとともに、相応しいサービスを展開するため、図書館のあるべき姿を描くと同時に、その実現に向けて必要な施策を網羅的・体系的に整理することを目的として、平成22年度より10年間を計画期間とする「武蔵野市図書館基本計画」を策定した。策定は、図書館基本計画策定委員会を設置し意見をいただきながら進めた。策定委員会は計9回開催。パブリックコメントによる市民意見の聴取も行った。
49	中央図書館地下書庫集密化工事 [図書館]	予算 決算	15,605 12,128	中央図書館地下1階書庫の既存書棚の一部を電動集密化することにより、所蔵可能数が約3万1千冊強増加した。
50	図書館資料収集・保存 [図書館]	予算 決算	117,078 117,378	市立図書館の図書資料(前年に引き続き特にDVD)の充実を図った。 中央図書館…図書 19,193冊 CD △359枚 ビデオ △197本 DVD 259枚 西部図書館…図書 33冊 吉祥寺図書館…図書 △3,634冊 CD△30枚
51	図書館業務のICシステム導入 [図書館]	予算 決算	53,760 43,842	新刊図書及び西部図書館・吉祥寺図書館の既存図書、中央図書館・吉祥寺図書館の視聴覚資料等にICタグの貼付を行った。
52	児童を対象とした図書サービス [図書館]	予算 決算	10,488 8,985	「むさしのブックスタート」、「読書の動機づけ指導」、「子ども文芸賞」等の事業に加え、学校と市立図書館との連携検討委員会を設置し、子ども達へより豊かな読書環境や学習環境を整備していくための検討を行った。 また、平成19年度より編さんしている「子ども武蔵野市史」が完成した。

Ⅲ 緑・環境・市民生活

1 持続可能な都市の形成

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	市域CO ₂ 排出削減推進事業 [環境政策課]	予算 8,500 決算 2,410	①市内中小企業の省エネ診断・改善アドバイス 6件 1,499,400円 ②省エネ設備改修費用借入金利子補給 0件 0円 ③「省エネの手引き」の発行、市民・事業者へ配布 910,770円
2	環境配慮行動助成事業 [環境政策課]	予算 12,150 決算 19,376	①太陽光利用設備助成対象 太陽光発電設備 3万円/kW 太陽熱温水器 5万円/1件 助成件数…計99件(352.290kW) ②高効率給湯機器助成対象 家庭用燃料電池 10万円/1件 ガス発電給湯器 4万円/1件 CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器 3万円/1件 潜熱回収型給湯器 2万円/1件 助成件数…計389件
3	太陽光発電支援モデル事業 [環境政策課]	予算 5,000 決算 4,644	モデル事業登録者に対して、太陽光発電の余剰電力量に応じた補助を行った。 対象者：239人 対象者設置設備：836.62kW 補助対象電力量：303,988kWh
4	太陽光発電発電設備の設置 [環境政策課]	予算 30,000 決算 25,242	第二小学校校舎屋上へ出力30kWの太陽光発電システムを設置した。
5	環境まちづくり協働事業 [環境政策課]	予算 2,000 決算 1,003	①子どもと市民のエコ学習事業 ②「緑」を機軸に環境問題を考える情報誌の発行 ③温暖化防止を目指す地域の省エネを進める市民事業 ④エコアップセミナー の4事業を決定。通年で実施した。
6	環境対策の推進 [環境政策課]	予算 6,688 決算 4,918	①環境市民会議の開催(6回) ②市域生態系調査等 ③環境マネジメントシステムの運営 ④環境情報の提供…「武蔵野市の環境保全」を発行 ⑤事業者、市民の環境配慮行動への誘導…環境展を市内3カ所で実施、環境講座実施、グリーンパートナー通信発行(グリーンパートナー届出件数累計 208件)した。
7	環境啓発事業 [環境政策課]	予算 1,920 決算 1,708	「環境フェスタ」を行い、パネル展示、省エネコンテストなどを実施した。 参加人数…約700人
8	小規模事業者に対する事業系ごみの排出指導事業 [ごみ総合対策課]	予算 7,788 決算 7,770	市内約4,000の小規模事業者に対して、事業系ごみを家庭ごみとして排出している事業者の指導強化を実施し、適正排出率の向上を図った。ルール違反371件(年間)。適正排出率44%(平成19年)から75.4%(平成21年度調査終了時)へ向上。
9	レジ袋削減の推進 [ごみ総合対策課]	予算 3,912 決算 8,218	レジ袋削減会議の検討結果を受け、1円キャッシュバック実証実験、市内スーパー等でプチエコ抽選会、店頭キャンペーン、商店会(三鷹、境)協働取組み、商連フラッグ市内全域掲示、薬剤師会・コンビニでの声かけ実験、広報、啓発を実施した。実験等によりレジ袋辞退率が向上した。 ・1円キャッシュバック…麦わら帽子20%台→60% ・プチエコ抽選会…京王ストア 8月25.8%→10月53% グルメシティ 8月18.6%→10月20.4% エコスタいらや 8月19.6%→10月21.3%

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
10	剪定枝葉資源化事業 [ごみ総合対策課]	予算 5,715 決算 4,108	一般廃棄物として焼却されている剪定枝葉の一部を堆肥化して有効活用するとともに、燃やすごみの減量を図った。 資源化量 155.25 トン
11	ごみ減量資源化推進事業者(ＥＣＯパートナー)認定表彰制度 [ごみ総合対策課]	予算 700 決算 264	事業活動においてエネルギーの消費を抑えながら、ごみの発生を可能な限り抑制し、その上で発生するごみについても、生ごみ・雑紙の全量資源化を実施してきた事業者に対して、その功績を認定する制度。平成21年度受賞者は39事業者のうち新たに2事業者が認定され、計20事業者になった。
12	塵芥処理事業(収集委託料) [ごみ総合対策課]	予算 1,088,550 決算 1,084,135	市内で排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ及び資源物の収集運搬(一部再生処理も含む)に要する業務を、一部の狭あい路線とふれあい訪問収集対象世帯を除き委託化した。また、燃やさないごみの収集回数を見直し、収集効率を向上させるとともに、粗大ごみの祝日収集を開始した。
13	クリーンセンター施設改修等工事 [クリーンセンター]	予算 730,300 決算 731,595	安定的なごみ処理を図るため、焼却施設・粗大ごみ処理施設等の基幹施設の法定点検及び定期点検整備工事と施設や部品の劣化状況を見ながら計画的に改修工事を実施した。
14	地球温暖化対策工事(二酸化炭素排出削減) [クリーンセンター]	予算 23,470 決算 21,000	温室効果ガス排出総量削減のため、東京都環境確保条例に基づく5カ年計画の最終年としてクリーンセンター焼却施設内バグフィルター用コンプレッサーをインバータータイプに更新する工事を行い電気使用の効率化、使用量の削減を図った。(温室効果ガス削減量はCO2換算で58.4t)
15	新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業 [クリーンセンター]	予算 51,261 決算 27,293	平成21年6月(仮称)新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会の最終報告書が提出され同年12月に「市の基本的考え方」をまとめた。それを受けて平成22年2月に基本計画策定委員会、3月に施設・周辺整備協議会を立ち上げ具体的検討に入った。

2 緑豊かな都市環境の創出

16	公園等建設事業 [緑化環境センター]	予算 1,562,592 決算 1,598,310	境南中央公園等の用地買収及び城山ひろば公園、中央通りさくら並木公園の新設等。 【用地買収】 境南中央公園 2754.88㎡、城山ひろば公園 418.97㎡、グリーンパーク緑地 158.79㎡ 【新設・改修等】 城山ひろば公園 1148㎡ 中央通りさくら並木公園 2866.7㎡ 仙川しらかし緑地 367㎡※1 東町くすのき公園 574㎡※2 南町苗木畑+578㎡ 仙川緑地+1333㎡ 城山ひろば公園、中央通りさくら並木公園、仙川しらかし緑地、東町くすのき公園については、平成22年3月31日より供用を開始。 ※1,2の公園・緑地については提供公園・緑地である。
17	緑の表彰・顕彰制度 [緑化環境センター]	予算 1,135 決算 488	将来の緑豊かなまちづくりをめざし、緑の保護・育成に取り組み、地域に貢献している個人、市民団体、地域、企業及び開発事業者等を顕彰することによって、市民ならびに事業者の緑化に対する意識向上を図り、緑化の推進、緑の保全による快適で優しい生活環境の創出を図ることを目的とする。第1回は「歩いて発見!すてきなみどりコンテスト(接道部緑化)」を実施し、審査員特別賞を含む5人の入賞を決定・表彰した。

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
18	未来へ育て！苗木すくすく 大木計画 [緑化環境センター]	予算 1,523 決算 1,473	緑豊かな都市環境の創出を目指すため、減少傾向にある民間の緑を育むとともに、緑の質を高めることを目的とする。既に実施している「誕生記念樹」に、「一般配布」と「新築記念樹」を新設し、配布方法及び対象を様々な機会において展開していくことによって、相乗的な緑化推進、啓発効果を期待する。 【配布実績】 新築記念樹 4本(12月)、一般配布 242本 (6月142本、3月100本) (配布樹種…ハマズキ、コブシ、シマトネリコ、イロハモジ、ヒメヤブ) 誕生記念樹 441本(4月、7月、10月、1月) (配布樹種…ジュンベリー、ブルーベリー、オリーブ、ユズウメ、 ベンジャミン、パキラ)
19	緑ボランティア団体事業助 成 [緑化環境センター]	予算 4,000 決算 2,869	市民によって構成されたボランティア団体による市立公園等を拠点として緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関する活動事業。清掃や花苗の植えつけ等の活動を行っている。 登録団体…緑ボランティア 20団体

3 身近な自然の回復と保全

20	千川上水整備事業 [緑化環境センター]	予算 43,600 決算 42,282	平成18年度に、東京都より移管された千川上水の維持管理を年間を通じて実施(境橋から吉祥寺橋までの約3.8km間)した。また、平成20年度から継続していた千川上水整備基本計画を策定した。
21	二俣尾・武蔵野市民の森の 充実と奥多摩の森林整備 [緑化環境センター]	予算 11,482 決算 10,275	多摩の森林を保全し活用するための事業を実施した。二俣尾・武蔵野市民の森の森林整備等委託。森の市民講座、自然観察会の実施。武蔵野自然塾への運営費補助。奥多摩・武蔵野の森の森林整備委託。自然体験館の整備及び維持管理。
22	保存樹林等の指定 [緑化環境センター]	予算 15,459 決算 9,898	民有地の緑を守る一環として、環境緑地や保存樹林、保存樹木、保存生垣制度を設け、保存樹林等に指定し、適正に維持管理を図るため、毎年助成金を交付し、維持管理も行った。 【平成22年3月時点】 保存樹林総数3カ所、保存樹木総数738本、保存生垣総数117カ所 【樹木診断】2カ所
23	仙川水辺環境整備事業 [緑化環境センター]	予算 113,150 決算 73,312	コンクリート3面張り構造の河川から自然護岸へと改修工事を行った。また、既存整備区間の維持管理、河川工事に伴う各企業の施設移設補償費の負担についても行った。 仙川水辺環境整備工事(約95m) 仙川水辺環境整備 業務委託 (延長約50m…桜堤公園から市道309号線付近) 仙川水辺環境整備 維持管理委託

4 農業の振興

24	認定農業者経営改善支援補 助事業 [生活経済課]	予算 2,500 決算 2,705	認定農業者の経営改善に要する事業費の一部を補助し、経営改善計画の達成を支援する事業。 8件、事業費6,763千円、補助金2,705千円。 補助制度を利用した農家の機械化等が改善され、作業効率の向上が図られた。
----	------------------------------------	----------------------	--

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
25	このとりベジタブル事業 [生活経済課]	予算 1,500 決算 1,496	新生児が誕生した家庭に市内産農産物の引換券(500円券4枚)を贈り地産地消と食育の推進を図る事業。平成19年度開始以来利用件数が伸びている。 1,061人へ4,244枚を配布、利用枚数…2,992枚(JA 1,209、アンテナショップ 1,134、直売所 649)、市内産農産物を求める若い世代が増え、リピーターになっている。
26	登録農地育成事業 [生活経済課]	予算 2,000 決算 2,065	市と農地の保存協定を結んだ農家に対して、農業近代化のための施設整備や農機具購入費用の一部を補助する事業。 6件 21,535㎡、事業費 5,222千円、補助金支出 2,065千円。 保存年限を7年から10年に延長し、補助回数を2回に変更したことにより更に農地の保全が図られた。
27	市民農園維持管理事業 [生活経済課]	予算 7,802 決算 21,377	新たに市民農園への農地提供の申し出があり、平成22年4月開設に向け補正予算により設置工事を行った。これにより区画数は8カ所 646区画に増え、市民の利用枠拡大が図られた。

5 商工業の振興

28	勤労者互助会補助 [生活経済課]	予算 22,460 決算 22,460	市内の中小企業の事業主及び勤労者を対象に、福利厚生を図るため、補助金を交付した。勤労者互助会の主な事業内容は、福利厚生事業、共済金給付事業、退職金共済掛金補助事業、健康維持増進に係る事業等。
29	技能・産業功労者表彰事業 [生活経済課]	予算 2,050 決算 1,707	技能の練磨や後進の育成にあたりとともに、市民生活の向上に貢献した技能者並びに市内の産業発展に寄与し、功労のあった者を表彰した。11月16日に表彰式及び祝賀会を実施(隔年実施)。技能功労者19人、産業功労者7人。
30	路線商業活性化総合支援事業 [生活経済課]	予算 11,600 決算 9,700	路線商店街において、複数の商店会が合同で実施する共同事業等の支援及び空き店舗を活用したコミュニティスタジオ事業等を展開していく中で、「にぎわい」「ふれあい」の創出や商品の販売促進を通して、活力ある商店街づくりを目指した。 スタンプ事業 6,600千円、商店街空き店舗活用事業 700千円
31	装飾街路灯維持管理経費補助事業 [生活経済課]	予算 6,800 決算 871	新・元気を出せ商店街事業では対象とならない商店会が保有している装飾街路灯等の維持管理に係る経費について、一部を補助することにより、商店会活動を支援し来街者の安全確保と商業の振興を図った。 水銀灯交換・統一看板シール張替え等 5商店会
32	Musashino ごちそうフェスタ [生活経済課]	予算 5,000 決算 5,000	武蔵野の食に注目した市民参加型イベントを支援した(主催:武蔵野商工会議所)。 お気に入りの飲食・食料品店を投票する「ムサランフェア」 投票期間…10月24日(土)～11月23日(月・祝) 「物産・逸品市」…11月23日(月・祝) 「武蔵野地粉うどん」(限定500食)の発表 武蔵野の「物産」「逸品」の紹介と販売、「安全・安心 武蔵野の野菜」販売・PR

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
33	商工振興事業 [生活経済課]	予算 49,021 決算 48,616	各種商工団体に補助金を交付し商工振興を図った。その他の商工振興事業として、次の事業を実施した。 ①武蔵境ジャズセッションイベント事業(実施委託) 2月20日(土)武蔵野スイングホール 来場者数…約450人 委託費995,400円 ②商店街装飾街路灯電気料補助事業 上半期…36商店会分 6,727,600円 下半期…34商店会分 4,674,900円 ③境活性化委員会運営費補助事業(商工会議所補助金) 1,840,000円
34	プレミアム付き商品券発行補助事業 [生活経済課]	予算 11,500 決算 40,286	プレミアム分の一部(第1弾)又は、全部(第2弾)及び発行にかかる事務経費の補助を行った。プレミアム…額面の10% 第1弾…発売日5月18日、発行金額1億1,000万円 第2弾…発売日11月14日、発行金額2億2,000万円
35	商店街情報発信事業 [生活経済課]	予算 0 決算 17,000	武蔵野市地域経済活性化ビジョンに基づく緊急経済対策の一環として、商店街や商業者等が行う商業活性化事業への支援として、市民協働方式での商店街情報発信にかかる経費を助成することにより、商店街等への顧客吸引力を高めるとともに消費意欲を刺激した。 ケーブルテレビ「イケメンブラザーズが行く!むさしの商店街」全10本、FMラジオ番組「みんな大好き!『むさしのラブラブ商店街』」全34本、スポットCM全121本、商店会マップ作成(吉祥寺・中央・境各地域)
36	新・元気を出せ商店街事業 (ダイヤ街アーケードリニューアル補助事業を除く) [生活経済課]	予算 70,115 決算 40,888	商店街支援事業として、東京都と連携した新・元気を出せ商店街事業を実施し、商店会の活性化を図った。 イベント事業 24件 36,906,000円 活性化事業 3件 3,982,000円
37	ダイヤ街アーケードリニューアル(景観舗装道路整備)補助事業 [生活経済課]	予算 38,500 決算 28,000	平成20年度から実施されているダイヤ街アーケードリニューアル事業に対して補助を行い、吉祥寺全体の商業の活性化を図った。(新・元気を出せ商店街事業活性化事業)
38	Mu～SHOP事業 [生活経済課]	予算 3,324 決算 2,890	隔年で武蔵野市商店会連合会が実施する、市内の秀でた店を顕彰し、紹介することで路線商業活性化を図るMu～SHOP事業への支援。平成21年度は市民モニター110人が参加し、Mu～SHOPとして地元優良店162店の認定及びPRについての補助を行った。
39	小規模企業者への補助事業 [生活経済課]	予算 58,080 決算 63,031	市内の小規模企業者及びこれから創業する者に対し、融資のあっせん、利子及び信用保証料の補助を行い、中小企業の振興を図った。 利子補給 1,566件 30,161,878円 保証料補助 243件 26,927,476円
40	吉祥寺ウェルカムキャンペーン補助 [生活経済課]	予算 7,500 決算 7,500	吉祥寺の街をPRし、来街者の増加及び吉祥寺商業の活性化を目指す年2回(春秋)のキャンペーンのイベントに対して補助を行った。 大吉祥抽選会(春) 3,500千円 アニメワンダーランド(秋) 4,000千円

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
41	定額給付金事業 [生活経済課]	予算 2,094,500 決算 2,027,753	景気後退下での市民の不安に対処するため、市民への生活支援を目的とし、あわせて市民に広く定額給付金を給付することにより、地域の経済対策に資するものとして実施した。 平成20・21年度の2カ年で実施 給付世帯数 72,320世帯

6 都市観光の推進

42	武蔵野市観光振興事業 [生活経済課]	予算 1,983 決算 1,479	観光推進計画に基づいて、武蔵野市の観光推進組織設立の検討を行った。 中央通りさくら並木のライトアップ事業を行った。
43	吉祥寺アニメフェスティバル [生活経済課]	予算 2,300 決算 2,600	東京国際アニメフェアと連携し、吉祥寺を中心としたアニメ産業が集積する本市の産業振興及び都市観光推進を目的として実施した。 平成22年3月13日(土) 吉祥寺アニメーション映画祭受賞作品上映会(約50人) 平成22年3月14日(日) 親子プラモデル教室(205人) ジブリ美術館ライブラリー祭り!(500人) まちなかLIVE(約500人)

7 真に豊かな消費生活の推進

44	消費生活センターの管理運営 [生活経済課]	予算 16,555 決算 17,231	消費生活センターの管理、消費生活相談、消費者教育講座、夏休み親子教室、消費生活展、消費者団体への助成、悪質商法被害防止街頭キャンペーン、その他消費者被害の未然防止啓発事業を実施した。また、消費者行政活性化補助金を活用し、施設内の備品・設備機器の充実を図った。
----	--------------------------	------------------------	---

8 防犯性の高い快適なまちづくり

45	ダイヤ街防犯カメラ設置費用補助 [安全対策課]	予算 6,000 決算 5,950	「東京都防犯設備の整備に対する区市町村補助事業」の対象事業として、吉祥寺ダイヤ街で実施した防犯カメラ設置工事に対し、補助対象経費の2/3となる595万円を補助した。防犯カメラ設置により、犯罪の抑制及び防止とともに、安全・安心で快適な通り環境が形成され、街の回遊性の向上や地域ぐるみの防犯意識高揚につながった。
46	生活安全対策(ホワイトイーグル・ブルーキャップ・市民安全パトロール隊)事業 [安全対策課]	予算 106,718 決算 103,563	ホワイトイーグル及び市民安全パトロール隊による安全パトロールを実施。ホワイトイーグルは車両3台・6人体制で、市民安全パトロール隊は10月より3人増員し68人体制で運用した。 ブルーキャップによるつきまとい勧誘等の指導は11人体制で運用し、違反者に対して警告書を交付した。また、市民安全大会、生活安全会議及び生活安全対策推進協議会を開催した。
47	地域環境協働事業 [環境政策課]	予算 500 決算 497	市民との協働を基本に生活公害(猫による環境衛生・公害面等)を改善するために、地域猫対策の協働事業に対して補助を行い、生活環境の改善に取り組んだ。

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
48	落書き対策消去事業 [環境政策課]	予算 2,137 決算 1,098	落書き消去活動を普及し、市民、商店会、ボランティア団体による自主的な街の安全対策を支援した。落書き消しちやい隊2回実施。落書き防止用のコーティング塗装費用の一部補助を5件行った(1件につき上限15万円)。
49	公害対策・調査・処理 [環境政策課]	予算 14,619 決算 13,294	公害苦情相談の受付と対応を行うと共に、公害発生 of 未然予防を図った。 常時監視とスポット調査を実施 公害発生の予防(都条例に示す工場や作業場への指導、その他公害要因対象者への指導)

9 防災態勢の強化

50	消防ポンプ自動車の購入 [防災課]	予算 44,000 決算 43,002	国・都の排ガス規制に対応するため、消防団第8分団、第10分団の消防ポンプ自動車2台を機能・装備のより充実した車両に買い換えた。
51	防火水槽新設工事 [防災課]	予算 32,000 決算 31,914	震災時の水利不足地域の解消・整備増強を図るため、あおき公園及び中央通りさくら並木公園に100㎡級耐震性貯水槽を新設した。 【整備箇所】 あおき公園、中央通りさくら並木公園
52	医療救護所用医薬資器材の整備 [防災課]	予算 17,150 決算 15,857	災害時医療救護関係団体と平成20年度に締結した覚書に基づき、医療救護所等の医薬品・医薬資器材を購入した。
53	災害用トイレの整備 [防災課]	予算 17,000 決算 44,778	避難所等の機能充実を図るため、マンホール式の災害用トイレ各10基を市立第三中学校・第五中学校に設置した。また、西久保公園にスツール式トイレ15基を設置した。 【整備箇所】 第三中学校 マンホール式 10基 第五中学校 マンホール式 10基 西久保公園 スツール式 15基
54	飲料水兼用耐震性貯水槽の整備 [防災課]	予算 76,400 決算 66,604	災害時給水拠点の確保、消防水利機能の充実を図るため、吉祥寺南町コミュニティセンター広場に飲料水兼用耐震性貯水槽60㎡型1基を新設した。 【整備箇所】 吉祥寺南町コミュニティセンター広場 60㎡型 1基
55	防災意識の啓発 [防災課]	予算 10,091 決算 8,012	組織活動の活発な自主防災組織へ貸与するためにヘルメット、ベストのほか、テントや可搬式ポンプ、避難所運営資器材などを購入した。 また、防災情報マップを作成し全戸配布を行った。風水害対策マニュアル等のパンフレットを作成し、各種イベント、集会、訓練などで配布した。

10 市民活動の活性化と協働の推進

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)		施策の概要と成果
56	コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動 [市民協働推進課]	予算 決算	280,627 287,625	市民による自発的なコミュニティづくりが活発に行われるよう、コミュニティセンターの管理運営を、指定管理者である16のコミュニティ協議会に委託した。また、コミュニティづくりのための安全で快適な空間を確保するため、館の維持管理と基盤整備を行った。
57	第6期コミュニティ市民委員会の運営 [市民協働推進課]	予算 決算	5,185 5,392	市民間の連携を支え、地域の活力を高めるコミュニティのあり方に関すること等を検討するため、第6期コミュニティ市民委員会を設置した(平成20年8月1日～平成22年1月21日)。10回にわたる会議を開催し、市民アンケート調査、パブリックコメント、地域別ヒアリングを実施し、報告書を作成した。

11 男女共同参画社会の実現

58	男女共同参画推進市民会議 [市民協働推進課]	予算 決算	1,189 883	施策を着実に推進するため、男女共同参画推進市民会議を設置し、月1回の頻度で会議を開催し第二次男女共同参画計画の推進状況や優先課題の検討を行った。任期は平成22年9月までで、10月に意見書を提出する予定。
59	むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営 [市民協働推進課]	予算 決算	9,680 9,522	男女共同参画社会の実現を目指し、市の施策の推進拠点として、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営を運営協議会に委託した。専門的人材として4月からセンター長を配置し、新たな事業を実施するとともに人材育成を進め、一層の活性化を図った。
60	男女共同参画施策事業 [市民協働推進課]	予算 決算	5,088 4,243	男女共同参画情報誌「まなこ」を引き続き発行し、市民への情報提供と啓発を行うとともに、男女共同参画推進団体の活動支援やライター入門講座などの事業を実施した。

12 都市・国際交流の推進

61	ルーマニアとの交流・協力事業 [交流事業課]	予算 決算	14,480 13,687	ルーマニア国ブラショフ市に設置した日本武蔵野センターを拠点に、日本語教室や日本文化紹介イベントを実施した。また、同センター職員の帰国にあわせて、活動報告会やルーマニアの事情を知らせるイベントを実施した(年2回)。なお、平成21年10月に同センターはブラショフ市の分室に移転した。
62	国際交流協会補助事業 [交流事業課]	予算 決算	66,154 66,154	国際交流協会が実施する在住外国人に対する日本語教室・相談事業の実施や、在住外国人との交流をはじめとする市民レベルの国際交流活動を支援するため、運営補助金を交付した。なお、平成21年4月に一般財団法人となった。
63	友好都市アンテナショップ運営事業 [生活経済課]	予算 決算	4,103 3,840	友好都市のPRや物産品の販売、観光情報の発信などのために設置したアンテナショップを拠点に、友好交流、友好親善及び地元商店街の活性化を図った。
64	友好都市交流事業 [交流事業課]	予算 決算	6,539 3,632	友好都市への市民交流ツアー実施にあたり参加者に対しアンケートをとり、プログラムの内容を決定するなど、市民の意見を取り入れた企画を実施した。また、平成20年度まで勤労者互助会が市の補助を受け実施してきた制度を移管し、市民を対象に南房総市海の家利用補助事業を実施した。

13 生涯スポーツの振興

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
65	地域スポーツイベント補助金 [生涯学習スポーツ課]	予算 600 決算 110	①境南コミュニティ協議会…第24回モーニングハイク(ウォーキング)平成21年8月2日(日) 補助金額9,700円 ②地域運動会実行委員会(関前南地区)…地域運動会平成21年10月18日(日) 補助金額100,000円
66	緑町スポーツ広場の管理運営 [生涯学習スポーツ課]	予算 5,000 決算 5,000	多くの市民に幅広く利用された。 ①貸切使用(主に団体・グループ等)…4,429人 ②個人使用…市民7,767人、一般2,224人 計9,991人
67	体育施設改修 [生涯学習スポーツ課]	予算 60,446 決算 48,000	I 経年劣化により安全性・快適性が損なわれた体育施設の改修工事 ①陸上競技場改修 28,350千円 ②総合体育館全蒸気バルブ交換 5,355千円 ③温水プール排水ポンプ設置 4,095千円 ④温水プール更衣室床改修 1,827千円 ⑤陸上競技場スプリンクラー改修 4,410千円 II その他維持修繕工事 陸上競技場維持工事 1,270千円等

14 特色ある市民文化の発展

68	歴史資料館開設準備事業 [企画調整課]	予算 38,149 決算 21,558	武蔵野市百年史続編(仮称)の編さんを引き続き行い、記述編については3月末に執筆完了した。また、廃棄公文書(平成21年度分)の中から歴史資料となりうる文書を引き継ぎ、整理・データベース化を行った。
69	戦争体験の記録・収集事業 [市民協働推進課]	予算 781 決算 653	非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、武蔵野市内での空襲体験などをはじめとする戦争体験の収集や聞き取り調査、資料収集等を行い、戦争体験記録集「武蔵野から伝える戦争体験記録集」を編集・発行すると同時に、中島飛行機武蔵製作所の空襲に関する写真パネルを製作した。
70	非核都市宣言平和事業 [市民協働推進課]	予算 420 決算 198	非核都市宣言平和事業実行委員会とともに、武蔵野の空襲や広島・長崎の被爆などの写真パネル展や講演会を行い、平和の尊さを市民へ発信した。
71	三鷹駅前公共スペース整備事業 [市民協働推進課]	予算 50,000 決算 47,596	市民の活動、交流等を促進することにより、市民文化の振興を図ることを目的として、インターネットを完備した多目的スペース「武蔵野市立かたらいの道 市民スペース」を設置した(中町1-11-16 武蔵野タワーズ スカイクロスタワー1階)。
72	文化施設改修工事 [市民協働推進課]	予算 75,639 決算 54,693	市民文化会館…大小ホール内非常口表示灯取替工事、大ホール舞台袖コンクリート打ち直し工事、大ホール舞台照明改修 公会堂…ホール内非常口表示灯取替工事、地下食堂空調改修 スイングホール…電話設備取替工事 ほか

IV 都市基盤

1 連携・協働が支える信頼のまちづくり

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	まちづくり条例の運用 [まちづくり推進課]	予算 3,714 決算 651	まちづくり条例を運用し、市民・開発業者・市の三者協働による魅力あるまちづくりを推進するため、まちづくり委員会の運営等を行った。 まちづくり委員会 … 平成21年4月20日、12月18日、平成22年1月5日 まちづくり委員会調整会 … 平成22年2月28日 まちづくり委員会懇談会 … 平成22年3月24日

2 地域の特徴を活かすまちづくりの推進

2	都市マスタープランの見直し [まちづくり推進課]	予算 10,608 決算 7,482	社会情勢の変化やまちづくり条例の施行を受け、およそ20年後の都市像を明らかにするため、都市マスタープラン改定委員会を設置し、都市マスタープラン見直しの検討を進めた。また、市民ニーズの把握や、地区単位のまちづくりを進めるために、都市マスタープラン改定地区別意見交換会を開催した。 都市マスタープラン改定委員会 … 平成21年11月17日、平成22年1月29日 地区別意見交換会 … 平成22年2月19～20日、平成22年3月12～13日
3	景観整備優先路線の事業化計画の策定 [道路課]	予算 23,000 決算 16,606	景観、歩行、安全・安心快適性の一層の向上を図るため、電線類地中化のほか、舗装のカラー化、街路樹や植樹帯、装飾街路灯の設置など、優先的に景観整備する路線を計画的に整備する「景観整備路線事業計画」を策定した。計画策定に伴い、電線類地中化の予備設計を実施した。

3 利用者の視点と発想を重視するまちづくり

4	バリアフリー基本構想の改定 [まちづくり推進課]	予算 3,300 決算 3,238	バリアフリー新法に基づき、基本構想を平成21～22年度で改定する。 現行バリアフリー基本構想の評価、新法対応に係る課題の整理等を実施し、平成22年度に設置予定である基本構想改定委員会での検討に必要な基礎資料を作成した。
5	環境舗装事業 [道路課]	予算 164,450 決算 158,195	市内の生活道路改修の際に透水性舗装を施工し、雨水流出抑制や地下水涵養を行った。また、ヒートアイランド現象緩和を目的に遮熱性舗装を施工した。 7路線 施工延長 1,625m L形工 1,743m 舗装面積 6,704㎡

4 上水道の整備・充実

6	配水管網整備の推進 [工務課]	予算 858,740 決算 854,233	平時はもとより災害時にも安全でおいしい水の安定供給を確保するために、新設及び耐震性に劣る配水管(鉄管、ビニール管)を耐震性ダクタイル鉄管に取替え、配水管網の整備を図った。 【施工内容】 配水管新設工事 (3件) 344m 配水管(鉄管)改良工事 (13件) 3,759m 配水補助管改良工事 (18件) 7,513m
---	------------------------	--------------------------	--

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
7	浄水場施設改良工事 [工務課]	予算 25,500 決算 61,478	円滑な水の運用を図るため、経年劣化した設備を更新し、安全でおいしい水の安定供給を図った。 【工事内容】 第一浄水場ろ過機補機設備取替工事 第一浄水場配水ポンプ付帯設備緊急取替工事 非常用発電機設備緊急取替工事 第二浄水場フェンス取替工事 外4件

5 下水道の再整備

8	雨水浸透施設助成事業 [下水道課]	予算 5,000 決算 3,679	治水、利水、水循環に配慮するため、雨水浸透施設を設置する者に対して助成金を交付し、民間施設における雨水浸透施設の設置促進を図った。 申請件数 19件 浸透ます 71基・浸透トレンチ 57.2m
9	臭気対策支援事業 [下水道課]	予算 1,500 決算 0	悪臭の原因となる地下排水槽(ビルピット)の、改修改善に係る費用の一部を助成し、臭気の軽減を図る。 助成についてのPRパンフレットを行事等で配布したほか、ビルオーナーに対してビルピットの改善を依頼した。 申請件数 0件
10	公共下水道管渠現況調査・清掃委託 [下水道課]	予算 67,000 決算 64,105	下水道本管、取付管の損傷や土砂等の堆積物を調査及び清掃し、道路陥没事故や閉塞による悪臭等を未然に防ぐことに努めた。
11	合流式下水道改善事業 [下水道課]	予算 31,400 決算 20,958	神田川及び善福寺川流域の水環境等の向上や浸水被害の低減を図るため、本市から排出される汚濁雨水を一時的に貯留する施設を吉祥寺東町地区法政跡地等に設置するための基本設計を行った。また、善福寺川の吐き口に「きょう雑物除去装置」を設置した。
12	下水道建設負担金 [下水道課]	予算 79,173 決算 49,228	森ヶ崎水再生センター及び付属施設の建設に伴う負担金。
13	公共下水道建設事業 [下水道課]	予算 89,800 決算 45,293	都市計画道路3・4・24号線等の道路の築造に伴う管きよ築造工事及び汚水ます増設工事を行った。 築造 新設φ200～φ300 L=231.3m 汚水ます増設 50箇所
14	公共下水道再整備事業 [下水道課]	予算 65,000 決算 52,784	耐用年数を超える管きよや流下能力が不足している管きよを計画的に更新し、市民が安心して使用できる下水道施設を整備した。 管きよ更生 φ600 L=286.9m 取付管更生 7箇所
15	公共下水道耐震化工事 [下水道課]	予算 125,600 決算 92,285	震災時における下水道機能を確保するため、施設の耐震性の向上を図った。 整備数量 延長 5.3km 改修人孔数 129箇所
16	雨水貯留浸透施設設置事業 [下水道課]	予算 129,000 決算 117,812	大雨による浸水被害を軽減するため、貯留浸透施設を設置した。 市立第三中学校 … 600m ³ 市立第五中学校 … 800m ³

6 道路ネットワークの整備

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
17	道路新設改良事業 [道路課]	予算 224,000 決算 253,880	経年劣化した主要道路及び生活道路を改修整備した。 10路線 施工延長 2,776m L形工 825m 舗装面積 15,698㎡
18	都市計画道路3・4・27号線事業 [道路課]	予算 16,440 決算 113	鉄道連続立体交差事業の進捗に合わせ、鉄道により分断されている境地区と境南地区を相互に連絡する路線の測量調査を実施した。
19	都市計画道路7・6・1号線(御殿山通り)事業 [道路課]	予算 129,500 決算 126,190	玉川上水沿いの御殿山通りの三鷹橋～むらさき橋間を拡幅整備及び用地買収した。 用地買収実績 3件 130.59㎡
20	区画道路整備事業 [道路課]	予算 279,440 決算 272,650	事業進捗中の区画道路14路線等の用地買収を推進した。 用地買収実績 8件 599.65㎡
21	狭あい道路拡幅整備事業 [道路課]	予算 95,988 決算 69,330	建築行政と連携して狭あい道路を拡幅し、地域の交通の円滑性、防災性等の向上を図った。 整備延長 1,244m 整備面積 809㎡

7 安全で円滑な交通環境の整備

22	市道第199号線(かえで通り)自転車道整備事業 [交通対策課]	予算 20,000 決算 41,307	国土交通省と警察庁合同による「自転車通行環境整備のモデル地区」として指定を受けたかえで通りについて、三鷹市と連携を図りながら武蔵境駅南口付近から東八道路までの間、全長約2kmのうち市域分約0.4kmを整備した。
23	自転車安全利用講習会等の実施 [交通対策課]	予算 18,300 決算 14,072	交通事故の減少や歩行者の安全な通行を確保するため、自転車マナー(放置自転車、走行等)や交通ルールを学ぶ講習会を実施した。 一般講習会 29回、1,954人 出張講習会 6回、951人 スタント講習会(市立中学校) 2回、584人
24	ムーバス運行事業 [交通対策課]	予算 56,590 決算 68,178	市内にあるバス交通空白・不便地域の解消を図るため、ムーバスを運行した。 ムーバス利用実績 年間乗客数/1日平均乗客数 吉祥寺東循環 381,905人/1,046.3人 吉祥寺北西循環 642,996人/1,761.6人 境南東循環 191,277人/524.0人 境南西循環 290,403人/795.6人 三鷹駅北西循環 300,462人/823.2人 境西循環 262,024人/717.9人 境・東小金井線 187,503人/513.7人 三鷹・吉祥寺循環 243,612人/667.4人 境・三鷹循環 120,446人/330.0人 パークアンドバスライド駐車場「ムーパーク」 収容台数…71台 年間利用台数…22,843台 1日平均…62.6台(土日休1日平均…78.7台)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
25	バス交通サービス向上に関する調査等業務委託 [交通対策課]	予算 5,000 決算 3,500	誰もが利用しやすい交通体系の実現に向けて、平成20年度に実施した調査を基に課題を抽出して分類し、ムーバスを含む地域公共交通の改善・充実に向けた方針及び具体的施策を地域公共交通総合連携計画として取りまとめた。

8 住宅施策の総合的展開

26	高齢者住宅入居支援事業 [住宅対策課]	予算 1,300 決算 243	高齢者の入居支援として、協力不動産店の紹介・保証会社の紹介・保証料の助成・見守り事業など実施した。 保証料の助成2件。見守り1件。
27	エコライフ体験機器貸出事業 [住宅対策課]	予算 1,946 決算 726	自然エネルギーの活用及びエネルギーの合理的な使用にかかわる市民の意識啓発を図るためエコライフ体験機器の無料貸出しを行った。また、雨水タンク購入の一部を助成した。 おひさま発電キット 10件、貸出期間 10カ月 雨水タンク購入助成 小型1台、中型7台
28	民間住宅耐震改修助成事業 [住宅対策課]	予算 13,500 決算 5,500	昭和56年以前に建築された住宅で、市が定める診断機関による耐震診断の結果に基づき耐震改修を行う場合に、その費用の一部を助成した。昨年度より特定建築物等以外の非木造家屋、マンションも対象として拡充した。 木造10件、非木造1件、マンション0件
29	耐震診断助成事業 [住宅対策課]	予算 9,400 決算 2,643	建築物の所有者が耐震診断を受けた場合、その費用の一部を助成した。 木造30件、非木造0件、マンション0件
30	分譲マンション相談会 [住宅対策課]	予算 500 決算 294	市内の分譲マンション居住者が、管理組合の維持管理や建替え等について相談できる、専門家による無料相談会を実施した。 相談会開催3回/相談延件数23件
31	建築物耐震性相談事業 [住宅対策課]	予算 1,512 決算 554	市内建築物所有者の建築物に係る耐震性等構造上の不安解消を目的とする無料相談窓口を開設した。 窓口開設日数11日 相談件数17件
32	安全・賑わいのまちづくり促進型耐震助成 [住宅対策課]	予算 10,700 決算 0	災害に対する安全性の確保や商業活性化が望まれる商業地の安全で賑わいのあるまちづくりを推進するため、商業地域又は近隣商業地域で昭和56年以前に建てられた民間非住宅建物の耐震補強や建替えなどの費用の一部を助成する制度。 助成件数 0件
33	市営西久保住宅建替事業 [住宅対策課]	予算 260,432 決算 232,604	築後40年以上経過した市営西久保住宅の建替えのための建築工事(本体新築工事・電気設備工事・機械設備工事等)を行った。

9 住宅とまちの防災対策の推進

34	家具転倒防止器具普及事業 [防災課]	予算 26,036 決算 26,026	東京都市長会が実施する家具転倒防止器具助成事業により、家具転倒防止器具及び取付けを希望する世帯に対し、配布・設置を行い、震災時の安全性の向上を図った。 配布設置件数 1,480件
----	-----------------------	------------------------	--

10 吉祥寺圏の都市基盤整備

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
35	吉祥寺駅周辺地下自転車駐車場等整備検討調査 [交通対策課]	予算 5,000 決算 4,200	吉祥寺駅周辺の自転車駐車場不足を解消するため、道路の地下等を利用した整備手法を検討した。
36	吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐車場の整備 [交通対策課]	予算 0 決算 106,513	吉祥寺駅周辺の放置自転車対策として、吉祥寺パーキングプラザビルの1、2階に1,271台分の駐輪場を整備した。これに伴い、吉祥寺大通り歩道上の利用登録駐輪場を閉鎖し、安全で快適な歩行空間を取り戻した。また、土日の放置自転車対策として、定期利用の空きスペースに一時利用を受け入れている。
37	吉祥寺方式物流対策委員会運営支援 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 2,000 決算 1,985	吉祥寺のまちづくりの一環として立ち上げた吉祥寺方式物流対策委員会の自立と継続的な活動に向けて運営支援を行い、委員会を4回開催した。
38	吉祥寺まちづくり推進委員会 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 8,000 決算 7,935	吉祥寺のまちづくりを推進するため、庁内に横断的な委員会を設置し、吉祥寺グランドデザインにおける個々の課題について、大局的見地から事業のあり方を検討し、今後約10年間の取組み方策を示した「進化するまち『NEXT-吉祥寺』プロジェクト」を策定した。
39	吉祥寺駅周辺整備計画検討調査 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 5,000 決算 4,935	吉祥寺駅の改修・南北自由通路の整備等を踏まえ、将来の南北駅前広場機能のあり方、整備方策等について検討した。
40	吉祥寺東部地区まちづくり構想調査 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 3,000 決算 2,940	吉祥寺東部地区におけるまちづくりを推進するため、暫定的に自転車駐車場として使用されている市所有地について、隣接地との共同ビル化や換地等の検討を行った。
41	吉祥寺駅南北自由通路整備 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 14,000 決算 12,000	吉祥寺の魅力である回遊性の向上に向け、駅改修の事業主体である鉄道事業者とともに、吉祥寺駅南北自由通路整備事業の実施設計を行った。

11 中央圏の都市基盤整備

42	三鷹駅北口大型マンション地下自転車駐車場整備 [交通対策課]	予算 66,000 決算 59,245	「武蔵野タワーズ」建築工事に合わせ、北棟地下部分に1,500台分の公共自転車駐車場を整備した。これに伴い、暫定措置として設置していた中央大通り歩道上の利用登録駐輪場を閉鎖し、安全で快適な歩行空間を取り戻した。
----	-----------------------------------	------------------------	--

12 武蔵境圏の都市基盤整備

43	鉄道連続立体交差事業 [まちづくり推進課]	予算 317,598 決算 347,279	東京都に対し連続立体交差事業負担金を支出。 西武多摩川線…高架化工事は平成18年12月に完了 JR中央線…三鷹～国分寺間高架化工事のうち、下り線は平成19年7月に完了。上り線は平成21年12月に完了。引き続き国分寺～立川間を高架化工事施工中。 事業認可を平成22年度末から平成25年度末に延伸している。
44	武鉄中付1～3号線の無電柱化 [道路課]	予算 25,000 決算 0	武鉄中付第1～3号線の整備に向け、電線類の地中化の予備設計を計画していたが、関係機関等との協議・調整の結果、平成22年度に先送りした。

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)		施策の概要と成果
45	都市計画道路 3・3・23 号線 事業 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	6,000 5,471	武蔵境駅北口広場の基本設計に基づき、関係機関との調整・協議を行うとともに、広く市民から意見を収集するため、駅周辺のまちづくり説明会を実施した。これらの条件整理を行った上で警視庁協議を実施し、一定の了承が得られた。
46	区画道路整備事業(西地区) [武蔵境開発事務所]	予算 決算	5,500 3,632	市道第 291 号線の道路整備を行うため、市道第 84 号線～市道第 85 号線区間の電線共同溝連系・引込管工事及び道路境界確定作業を行った。
47	武蔵境駅舎周辺環境整備計画 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	5,000 4,830	平成 12 年に作成したリーフレット「いま 21 世紀へ-SAKAI-」の事業内容を見直し、リーフレットのリニューアルをした。また、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会への側面支援を実施した。
48	都道 123 号線拡幅整備事業 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	103,370 98,953	都道 123 号線拡幅整備(みちづくり・まちづくりパートナー事業)に伴って、道路築造工事及び電線共同溝連系・引込管工事を行った。また、新路線の武蔵境駅北口広場から市道第 291 号線区間の測量を実施した(都受託事業)。
49	武蔵野プレイス建設事業 [武蔵野プレイス開設準備室]	予算 決算	1,183,944 1,170,081	平成 21 年 1 月に着工し(平成 23 年 1 月竣工、同 7 月開館(予定))、進捗率は 45.5%(平成 22 年 3 月末現在、当初予定通り)。約 25,000 冊の図書を購入する等開館準備を進めた。

V 行・財政

1 市民パートナーシップの積極的推進

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	分権と協働の時代における自治体運営の検討 [企画調整課]	予算 1,519 決算 669	「武蔵野市の市民自治の未来を考える～新しいパートナーシップのかたち～」と題したシンポジウム、連続講座(第1回)を実施した。 参加者数…シンポジウム 104人、連続講座 22人
2	市民と市長のタウンミーティング [市民協働推進課]	予算 1,838 決算 696	市民が主役の市政を進めるため、地域の課題や市政全般について意見交換を行うタウンミーティングを、コミュニティ協議会と共催で年2回開催した。また、特定の課題について意見交換を行うテーマ別タウンミーティングを2回、青空タウンミーティングを2回開催した。
3	市民協働サロンの運営 [市民協働推進課]	予算 12,121 決算 12,120	行政やNPO・市民活動団体同士の協働を促進する活動拠点として、市民協働サロンの管理運営を、市内を中心に活動する複数のNPOと市民活動団体が構成するNPO法人に委託した。 市民協働サロン延利用人数 6,581人 市民協働サロン印刷機利用延団体数 985団体

2 市民ニーズに応えるサービスの提供

4	電子自治体共同運営 [情報管理課]	予算 8,361 決算 8,200	東京都と市区町村との共同運営による電子申請サービス及び電子調達サービスを利用し、電子申請については自然体験事業・生涯学習講座、胃がん・子宮がん検診及び誕生記念樹の申込など30の手続きを電子申請化し、1,266件の申込があった。電子調達については工事29件、委託44件、物品5件の電子入札を行った。
---	----------------------	----------------------	--

3 積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底

5	ホームページ運営 [広報課]	予算 5,558 決算 5,754	ホームページによる市政情報の提供を行った。ホームページの掲載情報が役立っているかを把握するため、評価機能などを追加した。
6	インターネットによる議会中継(録画による配信等) [議会事務局]	予算 6,958 決算 6,336	広く市民に議会審議の様子を伝えるため、本会議、予算・決算特別委員会のインターネット中継を行った。 アクセス数 8,999件 録画 3,660件

4 健全な財政運営の維持

7	行政評価制度の再構築 [企画調整課]	予算 10,300 決算 0	「武蔵野市事務事業・補助金見直しの基準」を定め、この基準にもとづき複数の視点から事務事業の見直しを進めた。個別事務事業評価を予算編成過程に組み込み、予算との連動性を高めた。
8	公共施設保全整備 [施設課]	予算 258,712 決算 235,420	劣化調査の結果に基づき保全整備を実施し、施設の機能維持及び延命化を図った。コミュニティセンター、公会堂、消防団分団、障害者福祉センター、保育園、小学校、中学校、単独調理場、武蔵野温水プール

5 時代の変化に対応する柔軟な行政運営

(金額欄における予算は当初予算額を計上)

No.	事業名	金額(千円)		施策の概要と成果
9	指定管理者制度の運用の改善 [企画調整課]	予算 決算	11,542 9,999	指定管理者制度を導入している公の施設26施設でモニタリングを実施した。モニタリング評価委員会において適正に管理運営が行われていることが認められた。
10	中高年齢者・障害者の雇用創出事業 [人事課・教育企画課]	予算 決算	645,473 614,883	職員の定数適正化計画の実施とあわせ、庁内各課との調整を行い、平成22年3月1日現在で36課75職種240人の嘱託職員を任用した(教育委員会を含む)。
11	緊急雇用創出事業 [人事課]	予算 決算	49,881 42,854	市の業務を見直し、ワークシェアリングと求職者の生活支援を目的に市民の雇用を創出するという観点から、平成22年3月1日現在、16課16職種19人の嘱託職員を任用した。
12	統合型地理情報システムの更新 [情報管理課]	予算 決算	8,431 5,075	統合型地理情報システムを活用するために、操作性の向上を図るとともに、都市整備部での地理情報業務を効率的に運用できるようシステムの機器を更改した。
13	総合事務支援システムの再構築 [情報管理課]	予算 決算	15,000 21,649	庁内業務の効率化を図るため事務の見直しを行うとともに、次期総合事務支援システムの調達を行った。新システムについては平成22年4月から順次稼働を開始する。

Ⅱ 平成 21 年度基金の運用状況を示す書類

地方自治法第 241 条第 5 項の規定に基づき、平成 21 年度の基金の運用状況を報告します。

武蔵野市長 邑上守正

1 平成21年度国民健康保険高額療養費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		5,000,000		0	5,000,000
4	0	5,000,000	0	0	5,000,000
5	0	5,000,000	0	0	5,000,000
6	0	5,000,000	0	0	5,000,000
7	0	5,000,000	0	0	5,000,000
8	0	5,000,000	0	0	5,000,000
9	0	5,000,000	190,000	190,000	4,810,000
10	0	5,000,000	0	190,000	4,810,000
11	0	5,000,000	0	190,000	4,810,000
12	190,000	5,190,000	0	190,000	5,000,000
1	0	5,190,000	0	190,000	5,000,000
2	0	5,190,000	0	190,000	5,000,000
3	0	5,190,000	0	190,000	5,000,000
計	190,000		190,000		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	958
下半期預金利子	1,014
計	1,972

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	5,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	5,000,000

2 平成21年度国民健康保険出産費資金貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		5,000,000		0	5,000,000
4	0	5,000,000	0	0	5,000,000
5	0	5,000,000	0	0	5,000,000
6	0	5,000,000	0	0	5,000,000
7	0	5,000,000	0	0	5,000,000
8	0	5,000,000	0	0	5,000,000
9	0	5,000,000	304,000	304,000	4,696,000
10	304,000	5,304,000	0	304,000	5,000,000
11	0	5,304,000	0	304,000	5,000,000
12	0	5,304,000	0	304,000	5,000,000
1	0	5,304,000	0	304,000	5,000,000
2	0	5,304,000	0	304,000	5,000,000
3	0	5,304,000	0	304,000	5,000,000
計	304,000		304,000		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	958
下半期預金利子	1,020
計	1,978

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	5,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	5,000,000

3 平成21年度高額介護等サービス費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		5,000,000		0	5,000,000
4	0	5,000,000	0	0	5,000,000
5	0	5,000,000	0	0	5,000,000
6	0	5,000,000	0	0	5,000,000
7	0	5,000,000	0	0	5,000,000
8	0	5,000,000	0	0	5,000,000
9	0	5,000,000	0	0	5,000,000
10	0	5,000,000	0	0	5,000,000
11	0	5,000,000	0	0	5,000,000
12	0	5,000,000	0	0	5,000,000
1	0	5,000,000	0	0	5,000,000
2	0	5,000,000	0	0	5,000,000
3	0	5,000,000	0	0	5,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	768
下半期預金利子	829
計	1,597

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	5,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	5,000,000

